

第三十二條 外務大臣必要ト認ムルトキハ別ニ定ムル移民取扱人同業組合規程ニ準據シ該組合ヲ設立スヘキコトヲ移民取扱人ニ命令ス

第三十三條 本章中移民取扱人ヨリ外務大臣ニ出願又ハ届出ヲ爲スヘキ場合及第三十一條ニ依ル名簿ヲ提出スヘキ場合ニ於テハ其ノ主タル營業所ヲ置ク地ノ地方長官ヲ經由スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ提出書類ノ謄本一通ヲ添ヘ原本ト共ニ之ヲ地方長官ニ差出スヘシ

第三章 保證金

第三十四條 移民保護法第十六條ニ掲ケタル保證金ハ之ヲ主タル營業所ヲ置ク地ノ地方長官ニ納付スヘシ

第三十五條 移民取扱人ノ納付スヘキ保證金ノ額及其ノ増減ハ外務大臣之ヲ定ム

第三十六條 移民取扱人ノ納付スヘキ保證金ハ國債證券ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得

前項國債證券ノ價格ハ其ノ納付ヲ受クヘキ地方長官ノ定ムル所ニ依ル

本條證券ノ價格ニ異動アリタルトキハ地方長官ハ移民取扱人ヲシテ之ニ依リ生シタル不足額ヲ追納セシムヘシ

第三十七條 主タル營業所ヲ置ク地ノ地方長官ハ移民取扱人ノ保證金ノ増額ヲ追納セシメ又ハ其ノ缺損ヲ填補セシムル場合ニ於テ一箇月以内ノ猶豫ヲ與フルコトヲ得

第四章 移民運送船

第三十八條 移民保護法第二十條ノ二ニ依リ命令ヲ以テ定ムル地方ハ外

務大臣之ヲ告示ス

第三十九條 移民保護法第二十條ノ二ニ依リ移民ノ員數ヲ算定スル場合ニ於テ五年以上十二年未満ノ者ハ二人ヲ以テ、二年以上五年未満ノ者ハ四人ヲ以テ一人ニ積算シ二年未満ノ者ハ之ヲ算入セス

第四十條 移民運送船ニ依リ移民ノ運送ヲ爲サントスルトキハ左ノ事項ヲ詳記シ帝國運送業者ニ在リテハ其ノ本店所在地ノ地方長官ヲ經由シ外國運送業者ニ在リテハ帝國内ニ在ル其ノ代表者所在地ノ地方長官ヲ經由シ外務大臣ニ出願シテ許可ヲ受クヘシ但シ船籍證書並移民運送船備付ナルトキハ船籍契約書寫ヲ添付スルコトヲ要ス

- 一 商號アルモノハ其ノ商號
- 二 本店所在地
- 三 移民運送船
- 四 船長ノ國籍、住所、氏名
- 五 移民乗船港、到着港並寄航港
- 六 移民乗船港ヨリ到着港ニ至ル迄ノ航海豫定日數
- 七 營業資本金額
- 八 運送スヘキ移民ノ豫定人員

同一運送業者方同一航路ニ使用スル移民運送船ハ二隻以上ヲ同一ノ願書ニ併記スルコトヲ得

外務大臣必要ト認ムルトキハ出願者ノ履歷書、商事會社ニ在リテハ其ノ定款ヲ提出セシムルコトアルヘシ

第四十一條 第三十八條ニ依リ外務大臣ノ告示シタル地方ニ於ケル一定ノ港ヘ一箇年二回以上航海ヲ爲ス移民運送船ニ關シテハ二回以上ノ運送ニ付同時ニ前條ノ出願ヲ爲スコトヲ得但シ一箇年ヲ超ユル期間ニ互

ルコトヲ得ス

第四十二條 外務大臣移民運送船ニ依リ移民ノ運送ヲ許可シタルトキハ附屬第五號書式ニ依リ移民運送許可證ヲ下付ス

第四十三條 第四十條ノ許可ヲ受ケタル運送業者ニシテ同條第一項第三號及第五號ニ掲ケタル事項ヲ變更セムトスルトキハ同條ノ手續ニ準シ外務大臣ニ出願シテ許可ヲ受クヘシ

前項ノ運送業者第四十條第一項第一號、第二號、第四號、第七號及第八號ニ掲ケタル事項ヲ變更シタルトキハ運送ナク同條ノ手續ニ準シ之ヲ外務大臣ニ届出ツヘシ

第四十四條 移民運送船ニ依リ移民ノ運送ヲ爲サントスル者第四十二條ノ許可證ヲ下付セラレタルトキハ該許可證ヲ移民運送船船長ニ交付スヘシ

移民運送船船長ハ官廳ノ命アルトキハ何時ニテモ前項ノ許可證ヲ提示スヘシ

第四十五條 移民運送業者移民到着港ニ移民ノ運送ヲ了シタルトキハ運送ナク第四十條ノ手續ニ依リ運送許可證ヲ外務大臣ニ返納スヘシ

第四十一條ノ出願ニ基キ下付セラレタル許可證ノ期間満了シタルトキ亦同シ

第四十六條 移民保護法第二十條ノ三第二項ニ依リ納付スヘキ保證金ノ額ハ外務大臣隨時之ヲ定ム

前項ノ保證金ハ第四十二條ノ許可證ヲ下付セラレタルトキ出願者ヨリ即時ニ之ヲ當該地方長官ニ納付スヘシ

本條ノ保證金ニ關シテハ第二十六條及第三十七條ノ規定ヲ準用ス

第四十七條 移民運送船ニ依リ移民ノ運送貨ニ關シテハ移民運送業者ハ

第四十條ノ出願ト同時ニ同條ノ手續ニ準シ豫メ外務大臣ニ出願シテ許可ヲ受クヘシ

第四十八條 運送業者第四十一條ノ出願ヲ爲ス場合ニ於テハ一定ノ期間ニ對スル運送貨ノ最高額ヲ定メ其ノ認可ヲ出願スルコトヲ得

運送業者前項ノ認可ヲ受ケタル後所定ノ期間内ニ運送貨最高額ノ増額ヲ爲サントスルトキハ外務大臣ニ出願シテ増額ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第四十九條 前條ニ依リ運送貨最高額ノ認可ヲ受ケタル運送業者ハ運送貨ノ額ヲ定メ豫航前五日迄ニ之ヲ移民乗船港所在地ノ地方長官ニ届出ツヘシ但シ運送貨ニ變更ナキ時ハ本條ノ届出ヲ要セス

第五十條 移民運送業者ハ移民運送船發航ノ日時ヲ豫メ移民乗船港所在地ノ地方長官ニ届出ツヘシ

第五章 雜則

第五十一條 金錢貸付ヲ業トスル者ニシテ移民ニ對シ渡航費其他渡航ノ準備ニ必要ナル金錢ヲ貸與セムトスルトキハ利率償還ノ方法其ノ他契約條件ノ要領ヲ記載シ其ノ所轄地方長官ニ出願シテ認可ヲ受クヘシ

第五十二條 前條ノ認可ヲ受ケタル金錢貸付業者ハ移民貸付金ニ付別ニ帳簿ヲ備ヘ置クコトヲ要ス

當該官吏ハ前項帳簿ノ檢査ヲ行フコトアルヘシ此場合ニ於テ金錢貸付業者ハ其ノ檢査ヲ拒ムコトヲ得ス

第五十三條 移民出發港ニ於テ移民宿泊業ヲ營マムトスル者ハ其ノ地方長官ニ出願シテ許可ヲ受クヘシ

第五十四條 移民取扱人ニ非スシテ移民乗船ニ關スル周旋ヲ爲サントスル者ハ移民乗船地ノ地方長官ニ出願シテ許可ヲ受クヘシ

第五編 通信、交通、電氣 第二章 交通

第五十五條 前二條ノ許可及第五十一條ノ認可ノ出願手續ニ關スル規程
並前二條ノ許可ヲ受ケタル者及第五十一條ノ金錢貸付業者ノ取締ニ關ス
ル規程ハ地方長官之ヲ定ム

第六編 罰則

第五十六條 第六條、第十條、第十三條第一項、第十四條、第十六條第
一項、第十八條、第二十一條、第二十二條、第二十四條第一項第二項
第二十五條、第二十七條、第三十條、第三十一條、第四十三條、第四
十四條又ハ第五十二條ニ違反シタル者ハ二十圓以上百圓以下ノ罰金ニ
處ス

第五十七條 第七條、第十一條第三項、第十五條、第十九條、第二十條、
第二十九條、第四十五條、第四十九條又ハ第五十條ニ違反シタル者ハ十
圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

第五十八條 本令中地方長官トアルハ東京府ニ在リテハ警視總監ト
第五十九條 本令ニ於テ在外帝國官廳ト稱スルハ帝國總領事官、領事官
又ハ貿易事務官ヲ謂ヒ總領事館、領事館、貿易事務館ナキ地ニ於テハ帝
國大使館及公使館ヲ謂フ

第六十條 本令ハ明治四十年七月一日ヨリ之ヲ施行ス
明治二十九年外務省令第三號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

移民保護法第三條ニ依リ移民ヲシテ
保證人ヲ定メシムヘキ地名

(明治四十年六月十一日
外務省告示 第十四號)

移民保護法第三條ニ依リ移民ヲシテ保證人ヲ定メシムヘキ地ヲ左ノ通相
定メ本年七月一日ヨリ施行ス
一 比律賓群島 一 濠洲及太平洋諸島 一 暹羅國
一 墨西哥國 一 伯刺西爾國 一 智利國
一 秘魯國 一 亞爾然丁國 一 亞弗利加洲
明治三十六年外務省告示第六號ハ之ヲ廢止ス

移民保護法第二十條ノニ依リ命令
ヲ以テ定メシムヘキ地名

(明治四十年六月十四日
外務省告示 第十五號)

【沿革】 明治四十年告示第一九號、同四十四年二月同第二號改正
移民保護法第二十條ノニ依リ命令ヲ以テ定メシムヘキ地ヲ左ノ通相定
メ本年七月一日ヨリ施行ス
一米領布哇 一 墨西哥國 一 伯刺西爾國
一 智利國 一 秘魯國 一 亞爾丁國
一 英領加奈陀 一 比律賓群島 一 太平洋諸島

外國旅券規則 (明治四十年三月十五日
外務省令 第一號)

【沿革】 明治四十年十一月告示第七號、同四十二年五月同第三號、同四十三年十一月同第七號、大正
二年十二月同第二號、同五年一月同第一號、同六年一月同第一號、同十年三月同第三號、同
十一年七月同第九號、同十四年三月同第四號改正

第一條 外國へ旅行スル者ニ下付スル旅券ハ外務大臣之ヲ發給シ外國ニ
於テハ帝國大使、公使、領事官及貿易事務官ヲシテ之ヲ發給セシム
第二條 旅券ノ下付ヲ請フ者ハ書面ニ左ノ事項ヲ記載シ之ニ戸籍謄本又
ハ其ノ氏名、本籍地及身分ヲ證明スヘキ文書ヲ添付シ内國ニ於テハ本
籍地又ハ所在地ノ地方上級行政廳(東京府下ニ在リテハ關東州ニ於テ
ハ關東都府府、外國ニ於テハ在外公館ニ出願スヘシ但シ關東州ニ於テ
ハ關東都府、外國ニ於テハ帝國大使、公使、領事官又ハ貿易事務官ノ認
定ニ依リ戸籍謄本又ハ其ノ他ノ文書ノ添付ヲ省略セシムルコトヲ得
一 氏名(片假名ヲ以テ傍
調ヲ付スヘシ)

二 本籍地(本籍地ト所在地ト異ナルト
キハ所在地ヲ使記スヘシ)
三 身分(戸主、家族ノ別家族ナルトキハ戸主
ノ氏名及戸主トノ続柄ヲ記載スヘシ)
四 年齡(滿何年若ハ何
年何月何日生)
五 職業
六 旅行地名
七 旅行ノ目的
旅券ノ下付ヲ請フ者長崎縣下對馬國ニ本籍地若ハ所在地ヲ有スルトキ

第五編 通信、交通、電氣 第二章 交通

ハ對馬島嶼ニ出願スルコトヲ得

本條ノ願書ニハ最近ノ撮影ニ係ル本人ノ寫真二葉(手札形、半身、無臺
紙)ヲ添付スヘシ但シ父又ハ母ノ旅券ニ併記スル五歳未満ノ子ニ付テ
ハ此限ニ在ラス

第三條 朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ於ケル旅券ノ下付ハ各朝鮮總督、
臺灣總督、樺太廳長官及南洋廳長官ノ定ムル所ニ依ル

第四條 (削除)
第五條 (削除)

第六條 官命ニ依リ外國ニ旅行スル者ハ内國及關東州ニ於テハ其ノ所管
官廳ヲ經由シテ外務省ニ、外國ニ於テハ在外公館ニ旅券ノ下付ヲ出願
スルコトヲ得但シ第二條第一項第一號、第六號及第七號ノ事項ヲ開申
スヘシ家族又ハ從者ヲ同行スルトキハ同行者ニ係ル第二條第一項第一
號乃至第四號ノ事項ヲ併セテ開申スヘシ
官命ニ依リ外國ニ在ル者其ノ所在地ニ家族又ハ從者ヲ呼寄セムトスル
トキハ其ノ旅券下付ノ出願ニ關シテ前項ノ規定ヲ準用スルコトヲ得

第七條 移民保護法ノ規定ニ依リ移民取扱人ニ依リ移民又ハ保證人ヲ要
スル移民ニシテ第二條ノ出願ヲ爲ストキハ移民取扱人又ハ保證人ノ連
署ヲ要ス

第八條 第二條ノ規定ニ依リ内國及關東州ニ於テ旅券ノ下付ヲ受クル者
ハ旅券一部ニ付金五圓ニ相當スル收入印紙ヲ領收證ヲ貼付スヘシ
在外公館ヨリ下付ヲ受クル旅券ノ手数料ニ關シテハ大正九年外務省令
第五號ニ依ル

第九條 旅券ノ下付ヲ受クル者ハ其ノ券面ニ署名スヘシ若シ署名スルコ

ト能ハサルトキハ代署セシメ本人ニ實印ヲ捺捺スヘシ
旅券面ニ査證アルコトヲ必要トスル國ニ旅行スル者ハ其ノ定ムル所ニ
依リ査證ヲ受クヘシ

第十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ旅券ノ下付ヲ受クルコトヲ得ス
一 豫戒命令中ノ者

一 清國又ハ韓國在留禁止命令中ノ者
第十一條 第二條ノ規定ニ依リ旅券ノ下付ヲ受ケタル後六箇月以内ニ出
發セサル者ハ旅券ヲ返納スヘシ

第十二條 旅行者歸國若ハ歸著シタルトキハ旅券ヲ返納スヘシ
旅券ノ下付ヲ受ケタル者死亡シタルトキハ其ノ遺族ヨリ之ヲ返納スヘ
シ

第十三條 商業漁業其ノ他職業ノ爲特定ノ地ニ數次往復スル者ハ歸國若
ハ歸著毎ニ其ノ旅券ヲ返納スルコトヲ要セス但シ旅券領收ノ日ヨリ三
箇年ヲ過キテ歸國若ハ歸著スルトキ又ハ歸國後何時ニテモ本人所在地
ヲ管轄スル地方上級行政廳ヨリ命令アリタルトキハ之ヲ返納スヘシ
前項特定ノ地ハ外務大臣之ヲ告示ス

第十四條 旅行十年ニ及ヒ歸國セサル者ハ旅券ヲ領收シタルトキヨリ十
年以内ニ帝國大使、公使、領事官又ハ貿易事務官ノ査證ヲ受クヘシ其
ノ後十年ニ及フ毎ニ亦同シ

第十五條 旅券ノ下付ヲ受ケタル者第十條各號ノ一ニ該當スルニ至リタ
ルトキ又ハ第二條第一項第一號乃至第三號、第六號及第七號ノ事項ニ
變更ヲ生シタルトキハ直ニ旅券ヲ返納スヘシ

第十六條 旅券ヲ紛失シタルトキハ直ニ届出ツヘシ之ヲ發見シタルトキ
亦同シ

第八節 航空

航空法 (大正十年四月八日 法律第五十四號)

第一章 總則

第一條 本法ニ於テ航空機トハ人ノ搭乘シ得ル氣球、風、航空船及飛行
機ヲ謂フ

本法ニ於テ航空トハ陸上又ハ水上ノ滑走ヲ、離陸又ハ著陸トハ離水又
ハ著水ヲ包含ス

第二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ノ所有スル航空機ハ之ヲ日本航空機
トス

一 日本國又ハ日本ノ公共團體

二 日本臣民

三 日本法令ニ依リ設立シタル會社ニシテ合名會社ニ在リテハ社員ノ
全員、合資會社及株式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ全員、株
式會社ニ在リテハ取締役ノ全員カ日本臣民タルモノ

四 前號ニ掲ケタル法人以外ノ法人ニシテ日本法令ニ依リ設立シ其ノ代
表者ノ全員カ日本臣民タルモノ

第三條 本法ハ本章及第四十一條乃至第四十三條ノ規定ヲ除クノ外軍用
航空機ニ之ヲ適用セス

國ノ使用ニ供スル航空機ニ付テハ第二十一條、第二十八條乃至第三十
條、第三十三條、第三十四條及第四十條ノ規定ニ關シ勅令ヲ以テ別段ノ
規定ヲ爲スコトヲ得

第十七條 本令ノ規定ニ依リ旅券ヲ返納又ハ其ノ紛失若ハ發見ノ届出ヲ
受クヘキ官廳ハ内國ニ於テハ地方上級行政廳、警視廳、函館支廳及對
馬島廳、關東州ニ於テハ關東都督府、外國ニ於テハ在外公館トス

第十八條 本令ニ於テ在外公館ト稱スルハ帝國大使館、公使館、總領事
館、領事館、總領事館分館、領事館分館及貿易事務官ヲ謂フ

第十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ其ノ旅券ヲ沒收シ百圓以内ノ罰
金若ハ科料若ハ三月以下ノ懲役又ハ拘留ニ處ス

一 第二條第一項各號ノ事項ヲ詐稱シ又ハ第十條各號ノ一ニ該當スル
者其ノ事實ヲ申告セス其ノ他詐欺ノ所爲ヲ以テ旅券ノ下付ヲ受ケタ
ル者及之ヲ幫助シタル者

一 他人ノ氏名ヲ記載シタル旅券ヲ使用シ又ハ之ヲ使用セシメ其ノ他
不正ノ目的ヲ以テ旅券ヲ授受シタル者及之ヲ幫助シタル者

一 旅券ニ貼付シタル寫眞ヲ取換ヘ該旅券ヲ使用シ又ハ之ヲ使用セシ
メタル者

一 本令ニ依リ旅券ヲ返納スヘキ場合ニ之ヲ返納セスシテ使用シ又ハ
事實ヲ偽リテ旅券紛失ノ旨ヲ届出テタル者

附則

第二十條 舊規則ニ依リ旅券ノ下付ヲ受ケタル者ニ對スル第十一條ノ期
間ハ該旅券面ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第二十一條 本令ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
明治三十三年六月外務省令第二號外國旅券規則ハ本令施行ノ日ヨリ之
ヲ廢止ス

第四條 航空ニ關シ條約又ハ之ニ準スヘキモノニ別段ノ規定アルトキハ
其ノ規定ニ從フ

第二章 航空機ノ検査及登録

第五條 航空機ヲ製造スル者ハ其ノ設計、材料、部分品、技功及製品ニ付
行政官廳ノ検査ヲ受クヘシ
填航證明書ナキ航空機ノ所有者ハ其ノ航空機ニ付行政官廳ノ検査ヲ受
クヘシ

前二項ノ検査ニ合格シタル航空機ニ對シテハ填航證明書ヲ交付ス

第一項及第二項ノ規定ハ命令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ受ケ
タル航空機ニ之ヲ適用セス

第六條 填航證明書ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ效力ヲ
失フ

一 填航證明書ニ記載シタル有效期間ヲ經過シタルトキ

二 第十四條第一項ノ規定ニ依リ航空機ノ使用ノ禁止ヲ命シタルトキ

前項第一號ノ有效期間ハ前條ノ検査ニ合格シタル日ヨリ起算シ六月以
内ニ於テ行政官廳之ヲ定ム有效期間ハ第十一條ノ検査ノ結果ニ依リ檢
査ノ日ヨリ起算シ六月以内ニ於テ行政官廳之ヲ延長スルコトヲ得

第七條 第五條ノ検査ニ合格シタル航空機ノ所有者ハ行政官廳ニ其ノ航
空機ノ登録ヲ申請スルコトヲ得

航空機ノ登録事項ハ航空機ノ所有者ノ氏名名稱、登録記號其ノ他命令
ヲ以テ定ムル事項トス

登録シタル事項ニ變更アリタルトキハ航空機ノ所有者ハ其ノ日ヨリ起
算シ十四日以内ニ行政官廳ニ變更ノ登録ヲ申請スヘシ

登録シタル航空機ニ對シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ航空機ノ所有者ノ
氏名

氏名名稱、登録記號其ノ他ノ登録事項ヲ記載シタル登録證明書ヲ交付ス

第八條 航空機カ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ際ノ航空機ノ所有者ハ其ノ日ヨリ起算シ十四日以内ニ行政官廳ニ堆航證明書ヲ返付スヘシ

一 滅失又ハ破壊シタルトキ

二 解撤セラレタルトキ

三 其ノ堆航證明書カ其ノ效力ヲ失ヒタルトキ

登録シタル航空機カ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ際ノ航空機ノ所有者ハ其ノ日ヨリ起算シ十四日以内ニ行政官廳ニ登録證明書ヲ返付スヘシ

一 滅失又ハ破壊シタルトキ

二 解撤セラレタルトキ

三 日本國籍ヲ喪失シタルトキ

四 其ノ堆航證明書カ其ノ效力ヲ失ヒタルトキ

前項第一號乃至第三號ノ場合ニ於テハ同時ニ抹消登録ヲ申請スヘシ

前項ノ場合ニ於テ抹消登録ノ申請ナキトキ又ハ第二項第四號ノ場合ニ於テハ行政官廳ハ職權ヲ以テ抹消ノ登録ヲ爲スコトヲ得

第九條 登録シタル航空機ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ國籍記號、登録記號並所有者ノ氏名、名稱及住所ヲ表示スヘシ

第十條 航空機ハ前條ノ規定ニ依ル表示ヲ爲シ且堆航證明書及登録證明書ヲ備付タルニ非サレハ之ヲ航空ノ用ニ供スルコトヲ得ス

第十一條 行政官廳ハ定期又ハ臨時ニ航空機ノ検査ヲ爲スコトヲ得

第十二條 第五條第一項第二項及第十條ノ規定ハ航空機ノ試験ノ爲飛行

場又ハ命令ヲ以テ定ムル場所ニ於テ航空スル航空機ニ關シテハ之ヲ適用セス

第十三條 第五條、第七條、第八條及第十一條ニ規定スルモノノ外航空機ノ検査又ハ登録ニ關スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 行政官廳ハ第十一條ノ検査ノ結果ニ基キ其ノ他航空機ノ現狀ニ因リ必要アルトキハ航空機ノ使用ノ制限、停止又ハ禁止ヲ命スルコトヲ得

第十五條 行政官廳ハ前項ノ規定ニ依リ制限ヲ命シタルトキハ堆航證明書ニ制限事項ヲ附記シ停止ヲ命シタルトキハ停止中堆航證明書ヲ領置ス

第十六條 航空機ノ乗員ニ非サレハ航空機ニ搭乘シテ其ノ運航ニ從事スルコトヲ得ス

第十七條 乗員ハ技術證明書及航空免狀ヲ携帶スルニ非サレハ運航ニ從事スルコトヲ得ス

第十八條 行政官廳ハ乗員ニ對シ定期又ハ臨時ニ検査ヲ爲スコトヲ得

第十九條 第十五條第一項ノ規定ハ飛行場又ハ命令ヲ以テ定ムル場所ニ於テ航空機ニ搭乘シテ運航練習ヲ爲ス者及運航練習ノ爲乗員ト同業シ共同シテ運航ニ從事スル者ハ之ヲ適用セス

第二十條 行政官廳ハ乗員引續キ六月以上運航ニ從事セザルトキ、第十八條ノ検査ノ結果ニ基キ必要アルトキ又ハ保安上必要ナルトキハ就業

場又ハ命令ヲ以テ定ムル場所ニ於テ航空スル航空機ニ關シテハ之ヲ適用セス

二十三條 第五條、第七條、第八條及第十一條ニ規定スルモノノ外航空機ノ検査又ハ登録ニ關スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 行政官廳ハ第十一條ノ検査ノ結果ニ基キ其ノ他航空機ノ現狀ニ因リ必要アルトキハ航空機ノ使用ノ制限、停止又ハ禁止ヲ命スルコトヲ得

第十五條 行政官廳ハ前項ノ規定ニ依リ制限ヲ命シタルトキハ堆航證明書ニ制限事項ヲ附記シ停止ヲ命シタルトキハ停止中堆航證明書ヲ領置ス

第十六條 航空機ノ乗員ニ非サレハ航空機ニ搭乘シテ其ノ運航ニ從事スルコトヲ得ス

第十七條 乗員ハ技術證明書及航空免狀ヲ携帶スルニ非サレハ運航ニ從事スルコトヲ得ス

第十八條 行政官廳ハ乗員ニ對シ定期又ハ臨時ニ検査ヲ爲スコトヲ得

第十九條 第十五條第一項ノ規定ハ飛行場又ハ命令ヲ以テ定ムル場所ニ於テ航空機ニ搭乘シテ運航練習ヲ爲ス者及運航練習ノ爲乗員ト同業シ共同シテ運航ニ從事スル者ハ之ヲ適用セス

第二十條 行政官廳ハ乗員引續キ六月以上運航ニ從事セザルトキ、第十八條ノ検査ノ結果ニ基キ必要アルトキ又ハ保安上必要ナルトキハ就業

場又ハ命令ヲ以テ定ムル場所ニ於テ航空スル航空機ニ關シテハ之ヲ適用セス

二十三條 第五條、第七條、第八條及第十一條ニ規定スルモノノ外航空機ノ検査又ハ登録ニ關スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 行政官廳ハ第十一條ノ検査ノ結果ニ基キ其ノ他航空機ノ現狀ニ因リ必要アルトキハ航空機ノ使用ノ制限、停止又ハ禁止ヲ命スルコトヲ得

第十五條 行政官廳ハ前項ノ規定ニ依リ制限ヲ命シタルトキハ堆航證明書ニ制限事項ヲ附記シ停止ヲ命シタルトキハ停止中堆航證明書ヲ領置ス

第十六條 航空機ノ乗員ニ非サレハ航空機ニ搭乘シテ其ノ運航ニ從事スルコトヲ得ス

第十七條 乗員ハ技術證明書及航空免狀ヲ携帶スルニ非サレハ運航ニ從事スルコトヲ得ス

第十八條 行政官廳ハ乗員ニ對シ定期又ハ臨時ニ検査ヲ爲スコトヲ得

第十九條 第十五條第一項ノ規定ハ飛行場又ハ命令ヲ以テ定ムル場所ニ於テ航空機ニ搭乘シテ運航練習ヲ爲ス者及運航練習ノ爲乗員ト同業シ共同シテ運航ニ從事スル者ハ之ヲ適用セス

第二十條 行政官廳ハ乗員引續キ六月以上運航ニ從事セザルトキ、第十八條ノ検査ノ結果ニ基キ必要アルトキ又ハ保安上必要ナルトキハ就業

場又ハ命令ヲ以テ定ムル場所ニ於テ航空スル航空機ニ關シテハ之ヲ適用セス

第二十一條 飛行場ヲ設置セムトスル者、其ノ區域ヲ變更セムトスル者又ハ公共ノ用ニ供スル飛行場ノ廢止セムトスル者ハ行政官廳ノ許可ヲ受テシ又ハ公共ノ用ニ供スル飛行場ヲ公共ノ用ニ供セサル飛行場ニ變更シ又ハ公共ノ用ニ供セサル飛行場ヲ公共ノ用ニ供スル飛行場ニ變更セムトスル者亦同シ

第二十二條 公共ノ用ニ供スル飛行場ノ經營者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ航空ニ必要ナル設備ヲ爲スヘシ

第二十三條 公共ノ用ニ供スル飛行場ノ經營者ノ行政官廳ノ許可ヲ受テタルニ非サレハ其ノ飛行場ヲ他ノ目的ニ使用シ又ハ使用セシムルコトヲ得ス

第二十四條 行政官廳ハ飛行場ノ境界ヨリ外方五百「メートル」ノ區域内ニ於テ航空ノ障礙ト爲ルヘキモノアルトキハ飛行場ノ經營者ニ對シ必要ナル航空標識ノ設置ヲ命スルコトヲ得

飛行場ノ經營者ハ前項ノ航空標識ノ設置又ハ維持ノ爲必要アルトキハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ日出後日没前ニ限リ他人ノ土地ニ立入り若ハ障礙ト爲ルヘキ物件ヲ除去シ又ハ必要ナル土地若ハ物件ヲ使用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ經營者ハ豫メ其ノ土地又ハ物件ノ占有者ニ其ノ旨通知スヘシ

第二十八條 公共ノ用ニ供セサル飛行場ノ經營者ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケタルニ非サレハ他人ノ運航スル他人ニ屬スル航空機ヲシテ飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸セシムルコトヲ得ス

第五編 通信、交通、電氣 第二章 交通

第五編 通信、交通、電氣 第二章 交通

第五編 通信、交通、電氣 第二章 交通

場又ハ命令ヲ以テ定ムル場所ニ於テ航空スル航空機ニ關シテハ之ヲ適用セス
第十三條 第五條、第七條、第八條及第十一條ニ規定スルモノノ外航空機ノ検査又ハ登録ニ關スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第十四條 行政官廳ハ第十一條ノ検査ノ結果ニ基キ其ノ他航空機ノ現狀ニ因リ必要アルトキハ航空機ノ使用ノ制限、停止又ハ禁止ヲ命スルコトヲ得
第十五條 行政官廳ハ前項ノ規定ニ依リ制限ヲ命シタルトキハ堆航證明書ニ制限事項ヲ附記シ停止ヲ命シタルトキハ停止中堆航證明書ヲ領置ス
第十六條 航空機ノ乗員ニ非サレハ航空機ニ搭乘シテ其ノ運航ニ從事スルコトヲ得ス
第十七條 乗員ハ技術證明書及航空免狀ヲ携帶スルニ非サレハ運航ニ從事スルコトヲ得ス
第十八條 行政官廳ハ乗員ニ對シ定期又ハ臨時ニ検査ヲ爲スコトヲ得
第十九條 第十五條第一項ノ規定ハ飛行場又ハ命令ヲ以テ定ムル場所ニ於テ航空機ニ搭乘シテ運航練習ヲ爲ス者及運航練習ノ爲乗員ト同業シ共同シテ運航ニ從事スル者ハ之ヲ適用セス
第二十條 行政官廳ハ乗員引續キ六月以上運航ニ從事セザルトキ、第十八條ノ検査ノ結果ニ基キ必要アルトキ又ハ保安上必要ナルトキハ就業

ノ制限、停止又ハ禁止ヲ命スルコトヲ得
行政官廳ハ前項ノ規定ニ依リ制限ヲ命シタルトキハ航空免狀ニ制限事項ヲ附記シ停止ヲ命シタルトキハ停止中航空免狀ヲ領置ス
第一項ノ規定ニ依リ禁止ヲ命セラレタル乗員ハ其ノ日ヨリ起算シ十四日以内ニ行政官廳ニ航空免狀ヲ返付スヘシ
第四條 飛行場及其ノ經營者
第二十一條 飛行場ヲ設置セムトスル者、其ノ區域ヲ變更セムトスル者又ハ公共ノ用ニ供スル飛行場ノ廢止セムトスル者ハ行政官廳ノ許可ヲ受テシ又ハ公共ノ用ニ供スル飛行場ヲ公共ノ用ニ供セサル飛行場ニ變更シ又ハ公共ノ用ニ供セサル飛行場ヲ公共ノ用ニ供スル飛行場ニ變更セムトスル者亦同シ
第二十二條 公共ノ用ニ供スル飛行場ノ經營者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ航空ニ必要ナル設備ヲ爲スヘシ
第二十三條 公共ノ用ニ供スル飛行場ノ經營者ノ行政官廳ノ許可ヲ受テタルニ非サレハ其ノ飛行場ヲ他ノ目的ニ使用シ又ハ使用セシムルコトヲ得ス
第二十四條 行政官廳ハ飛行場ノ境界ヨリ外方五百「メートル」ノ區域内ニ於テ航空ノ障礙ト爲ルヘキモノアルトキハ飛行場ノ經營者ニ對シ必要ナル航空標識ノ設置ヲ命スルコトヲ得
飛行場ノ經營者ハ前項ノ航空標識ノ設置又ハ維持ノ爲必要アルトキハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ日出後日没前ニ限リ他人ノ土地ニ立入り若ハ障礙ト爲ルヘキ物件ヲ除去シ又ハ必要ナル土地若ハ物件ヲ使用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ經營者ハ豫メ其ノ土地又ハ物件ノ占有者ニ其ノ旨通知スヘシ
第二十八條 公共ノ用ニ供セサル飛行場ノ經營者ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケタルニ非サレハ他人ノ運航スル他人ニ屬スル航空機ヲシテ飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸セシムルコトヲ得ス

第二十九條 航空船及飛行機ハ陸上ニ在リテハ飛行場ニ非サル場所、水上ニ在リテハ命令ヲ以テ禁止スル場所ニ於テ離陸又ハ著陸スルコトヲ得ス但シ故障若ハ避難ノ爲其ノ他已ムコトヲ得サル事由アルトキ又ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十條 故ナク皇居、禁苑、離宮、行在所若ハ神宮ノ上空ニ於テ又ハ皇陵ノ上空千「メートル」以下ニ於テ航空機ノ運航ヲ爲スコトヲ得ス

前項ニ掲グル場所ノ外航空ニ關スル制限又ハ禁止ヲ必要トスル場所ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十一條 戰時又ハ事變ニ際シ必要アルトキハ行政官廳ハ航空機ノ航空ヲ禁止スルコトヲ得

第三十二條 日本航空機ニ非サル航空機ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ之ヲ航空ノ用ニ供スルコトヲ得ス

第三十三條 日本國外ヨリ發航シテ日本國內ニ至リ若ハ日本國內ヨリ發航シテ日本國外ニ至ル航空機又ハ日本國外ヨリ發航シ著陸スルコトナクシテ日本國ヲ通過シ日本國外ニ至ル航空機ハ行政官廳ノ指定スル航空路ニ由リ航空スヘシ

第三十四條 日本國外ヨリ發航シテ日本國內ニ至リ又ハ日本國內ヨリ發航シテ日本國外ニ至ル航空機ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外行政官廳ノ指定スル飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スヘシ

第三十五條 日本航空機ニ非サル航空機ニ依リ有償ニテ日本各地ノ間ニ於テ旅客又ハ貨物ノ運送ヲ爲スコトヲ得ス但シ行政官廳ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十六條 行政官廳ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ日本航空機ニ依リ運送乘ヲ營ムコトヲ得ス

第六章 雜則

第三十七條 航空標識ノ用地又ハ公共ノ用ニ供スル飛行場ノ用地トスル爲必要ナル土地及水ノ使用ニ關スル權利其ノ他土地ニ關スル所有權以外ノ權利ハ之ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル收用又ハ使用ニ關シテハ土地收用法ヲ適用ス

第三十八條 公共ノ用ニ供スル飛行船ノ用地ニ付テハ納稅義務者ノ申請ニ因リ其ノ地租ヲ免除ス但シ一時ノ使用ニ供スルモノ又ハ有料借地ノモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十九條 關稅法中船舶、船長、船用品及海路運送並之ニ關スル犯罪事件ノ調査、處分及處罰ニ付テハ規定ハ航空機、航空機ノ長、航空機ノ機用品及航空機ニ依ル外國貨物ノ運送並之ニ關スル犯罪事件ノ調査、處分及處罰ニ付テハ準用ス但シ關稅法中開港トアルハ第三十四條ノ飛行場トス

第四十條 第三十三條ノ航空機カ故障又ハ避難ノ爲其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ因リ第三十四條ニ規定スル著陸ノ場所以外ニ著陸シタルトキハ稅關官吏其ノ地ニ在ル場合ニ於テハ稅關官吏ニ、稅關官吏其ノ地ニ在ラサル場合ニ於テハ警察官吏ニ運送ナク届出ツヘシ

前項ニ規定スル航空機ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ離陸スルコトヲ得ス

第四十一條 日本國外ヨリ發航シテ日本國內ニ至ル航空機ニ關シテハ傳染病豫防ノ爲檢疫ヲ施行ス

前項ノ檢疫ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十二條 前條ノ規定ハ内地、朝鮮、臺灣相互間ニ付テハ準用ス

前項ノ内地ニハ樺太ヲ包含ス

第四十三條 航空機ノ救難及之ニ關スル處罰ニ付テハ水難救護法ヲ準用ス

第四十四條 左ノ事項ニ關シ必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

一 航空機ニ備附クヘキ日誌其ノ他ノ帳簿書類及附屬品其ノ他ノ物件ニ關スル事項

二 保安上又ハ軍事上ノ必要ノ爲航空機ニ搭載スルコトヲ制限又ハ禁止スル火藥類寫、眞機其ノ他ノ物件ニ關スル事項

三 航空機ニ關スル燈火及信號ニ關スル事項

四 航空ニ關スル保安上必要ナル制限及航空機ト船舶トノ衝突豫防ニ關スル事項

五 航空標識及其ノ設置ニ關スル事項

六 飛行場ノ設備ニ關スル事項

第四十五條 當該官吏ハ其ノ職權ノ執行ニ必要ナリト認ムルトキハ航空機ノ離陸差止又ハ着陸ヲ命スルコトヲ得

第四十六條 當該官吏ハ其ノ職權ノ執行ニ必要ナリト認ムルトキハ航空機、飛行場又ハ格納庫ニ臨檢シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ之ニ備附テ要スル帳簿書類及物件ニ關シ檢査ヲ爲スコトヲ得

第四十七條 朝鮮及臺灣ニ於テハ第三十七條第二項、第三十八條及條四十三條ノ規定ニ關シ命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設ケタルコトヲ得

第七章 罰則

第四十八條 航空標識ヲ損壞シタル者又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ之ヲ無効トラスメタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十九條 詐偽ノ信號ヲ爲シ又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ航空ノ危險ヲ生セシメタル者ハ二年以上ノ有期懲役ニ處ス

第五十條 現ニ航空ノ用ニ供スル航空機ヲ墜落、顛覆若ハ覆沒セシメ又ハ破壊シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

前條ノ罪ヲ犯シ因テ現ニ航空ノ用ニ供スル航空機ノ墜落、顛覆、覆沒又ハ破壊ヲ致シタル者亦前項ノ例ニ同シ

第五十一條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第五十二條 過失ニ因リ航空ノ危險ヲ生セシメ又ハ現ニ航空ノ用ニ供スル航空機ノ墜落、顛覆、覆沒又ハ破壊ヲ致シタル者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

其ノ業務ニ従事スル者前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ三年以下ノ禁錮又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十三條 詐術ノ用キ第五條若ハ第十一條ノ檢査ヲ受ケ又ハ不實ノ事項ヲ登錄セシメタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十四條 第四十九條、第五十條第一項及前條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第五十五條 左ノ各條ノ一ニ該當スル者ハ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第五條又ハ第十一條ノ檢査ニ合格セサル航空機ヲ航空ノ用ニ供シタル者又ハ第三十二條ノ規定ニ違反シタル者

二 第十四條第一項ノ規定ニ依リ行政官廳ノ爲シタル命令ニ違反シタル者

三 第九條ノ規定ニ違反シテ國籍記號若ハ登録記號ヲ表示セサル航空機ヲ航空ノ用ニ供シタル者又ハ虛偽ノ國籍記號若ハ登録記號ヲ表示シタル航空機ヲ航空ノ用ニ供シタル者

第五十六條 第十五條第一項ノ規定ニ違反シタル者又ハ第二十條第一項

ノ規定ニ依リ爲シタル行政官廳ノ命令ニ違反シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

第三十條第二項ノ規定ニ依ル制限者ハ禁止ニ違反シタル者、第三十一條ノ規定ニ依ル禁止ニ違反シタル者又ハ第三十三條ノ規定ニ違反シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十八條 第二十九條ノ規定ニ違反シタル者又ハ第四十五條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ命令ニ違反シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第二十四條第一項ノ規定ニ依ル行政官廳ノ命令ニ違反シタル者

二 故ナク當該官吏ノ職務若ハ検査ヲ拒ミ、妨ケ若ハ忌避シ又ハ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虚偽ノ陳述ヲ爲シタル者

第六十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第九條ノ規定ニ違反シテ航空機所有者ノ氏名稱若ハ住所ヲ表示セサル航空機ヲ航空ノ用ニ供シタル者又ハ虚偽ノ氏名稱若ハ住所ヲ表示シタル航空機ヲ航空ノ用ニ供シタル者

二 第十條ノ規定ニ違反シテ堪航證明書又ハ登録證明書ヲ備付ケサル航空機ヲ航空ノ用ニ供シタル者

三 第十七條ノ規定ニ違反シタル者

第六十一條 第二十一條、第二十二條、第二十七條第一項、第二十八條、第三十四條乃至第三十六條又ハ第四十條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ

二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第二十三條ノ規定ニ違反シタル者

二 第二十七條第二項ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケスシテ使用料ノ請求ヲ爲シタル者

第六十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス

一 第五條第一項又ハ第二項ノ規定ニ違反シタル者

二 第七條第三項又ハ第八條第三項ノ規定ニ依ル登録ノ申請ヲ怠リタル者

三 第八條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル堪航證明書又ハ登録證明書ヲ返付ヲ怠リタル者

四 第二十條第三項ノ規定ニ依ル航空免狀ノ返付ヲ怠リタル者

五 第四十條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リタル者

前項ノ規定スル過料ハ法人ニ在リテハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ之ヲ適用ス

第六十四條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前條ノ過料ニ付之ヲ準用ス

附則 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和二年五月勅令第一〇四號ヲ以テ同年六月一日ヨリ施行)

第三章 電氣、瓦斯

第一節 電氣

電氣事業法 (明治四十四年三月三十日法律第五十五號)

【沿革】 大正五年二月法律第五號改正

第一條 本法ニ於テ電氣事業ト稱スルハ左ニ掲グルモノヲ謂フ

一 一般ノ需用ニ應ジ電氣ヲ供給スル事業

二 一般運送ノ用ニ供スル鐵道又ハ軌道ノ動力ニ電氣ヲ使用スル事業

第二條 本法ニ於テ電氣工作物ト稱スルハ電氣ノ供給又ハ使用ノ爲施設スル水路、貯水池、器具機械、電線路及其ノ他ノ工作物ニシテ電氣事業ノ用ニ供スルモノヲ謂フ

前項ニ於テ電線路ト稱スルハ電氣ノ傳送ニ用ケル電氣導體及之ヲ支持シ又ハ保護ヘル工作物ヲ謂フ

第三條 電氣事業ヲ營ムトスル者ハ勅令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外主務大臣ノ許可ヲ受ケヘシ

第四條 電氣事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル後ニ非サレハ工事ニ著手シ又ハ電氣工作物ノ使用ヲ爲スコトヲ得ス

第五條 電氣事業者ハ主務大臣ノ指定スル期間内ニ其ノ事業ヲ開始スヘシ

主務大臣ハ正當ノ事由アリト認ムル場合ニ限り前項期間ノ伸長ヲ許可スルコトヲ得

電氣事業者指定ノ期間内ニ事業ヲ開始セサルトキハ電氣事業ノ許可ハ其ノ効力ヲ失フ

第六條 主務大臣ハ公益上必要ナリト認メタルトキハ電氣事業者ニ對シ料金ノ制限其ノ他電氣供給ノ條件ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第七條 電氣事業者ハ電氣工作物ノ施設ニ關スル測量又ハ工事ノ爲必要アルトキハ他人ノ土地ニ立入ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ豫メ行政官廳ノ許可ヲ受ケ且少クトモ五日前ニ市町村長ニ通知シ市長村長ハ之ヲ告示シ又ハ其ノ旨土地ノ占有者ニ通知スヘシ

電氣事業者ハ電氣工作物ノ修理又ハ巡視ノ爲必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工作物ヲ施設セル他人ノ土地又ハ建造物 立入ルコトヲ得但シ日没ヨリ日出迄ノ間ニ於テハ危險急迫ノ場合ニ非サレハ占有者ノ意ニ反シテ邸宅其ノ他建造物ニ立入ルコトヲ得ス

第八條 電氣事業者ハ電線路ノ施設及保守ニ障害ヲ及スヘキ竹木其ノ他ノ植物ヲ伐除又ハ移植スルノ必要アル場合ニ於テ其ノ所有者ト協議調ハス又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ之ヲ伐除シ又ハ移植スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ電氣事業者ハ豫メ其ノ旨所有者ニ通知スヘシ

危險急迫ノ場合ニ於テハ電氣事業者ハ前項ノ規定ニ拘ラズ直ニ竹木其ノ他ノ植物ヲ伐除又ハ移植スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ遅滞ナク其ノ旨行政官廳ニ届出テ且其ノ所有者ニ之ヲ通知スヘシ

第九條 電氣事業者ハ河川、橋梁、溝渠、道路、堤防其ノ他公共ノ用ニ供セラレタル土地ノ地上又ハ地中ニ電線路ヲ施設スル必要アルトキハ其ノ效用ヲ妨ケサル限度ニ於テ管理者ノ許可ヲ受ケテ之ヲ使用スルコトヲ得

前項の場合ニ於テハ電氣事業者ハ管理者ノ定ムル所ニ依リ使用料ヲ納ムヘシ

管理者タル地方行政廳ニ於テ正當ノ事由ナクシテ第一項ノ許可ヲ拒ミタルトキ又ハ管理者ノ定メタル使用料ノ額ヲ不相當ナリトスルトキハ主務大臣ハ電氣事業者ノ申請ニ依リ使用ヲ許可シ又ハ使用料ノ額ヲ定ムルコトヲ得

第十條 電氣事業者ハ必要アルトキハ現在ノ使用方法ヲ妨ケサル限度ニ於テ他人ノ地上ノ空間若ハ地中ニ電線ヲ施設シ又ハ建造物ノ存生セサル他人ノ土地ニ電線ノ支持物ヲ建設スルコトヲ得

電氣事業者前項ノ規定ニ依リ他人ノ土地ヲ使用セムトスル場合ニ於テ其ノ所有者及占有者ト協議調ハス又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ其ノ使用ノ範圍ヲ定メ兼メ地方長官ノ許可ヲ受ケテ其ノ工事ニ著手スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ少クトモ五日以前ニ其ノ旨土地ノ所有者及占有者ニ通知スヘシ

第十一條 電線ヲ施設シタル土地ノ近接地又ハ前條ニ依リ電線ヲ施設シタル土地ノ所有者又ハ占有者ハ土地ノ使用方法ヲ變更スル爲ニ必要ナル方法ヲ施設スコトヲ請求スルコトヲ得

前項ノ工事ニ要スル費用ハ電氣事業者ノ負擔トス但シ其ノ工事ヲ爲シタル後正當ノ事由ナクシテ豫定ノ變更ヲ爲ササルトキハ請求者ノ負擔トス

第十二條 第七條、第八條及第十條ノ場合ニ於テ現ニ生シタル損失ハ電氣事業者之ヲ補償スヘシ

服アル者ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三月内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

行政官廳ハ必要ト認ルトキハ電氣事業者チシテ損失ノ補遺ニ充ツヘキ金額ヲ供託セシムルコトヲ得

第十三條 電氣事業者ハ地中電氣工作物ヲ施設スル場合ニ於テ他人ニ屬スル地中電氣工作物ノ位置ヲ變更スル必要アルトキハ當該工作物ノ效用ヲ妨ケサル限度ニ於テ其ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ工作物ノ所有者チシテ其ノ變更ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ主務大臣ノ許可ヲ受ケヘシ

第十四條 主務大臣ハ工事上已ムラ得スト認メタル箇所ニ限リ電氣事業者ニ對シ電線路ノ共用ヲ命スルコトヲ得

第十五條 電氣工作物相互間及電氣工作物ト其ノ他ノ工作物トノ間ニ於ケル障害ヲ防止スル爲ニ必要ナル施設ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十六條 前四條ニ依リ工事ニ關スル費用ノ負擔其ノ他ノ條件ハ命令ヲ以テ定ムルモノノ外當事者間ノ協議ニ依リ協議調ハサルトキハ主務大臣之ヲ裁定ス

第十七條 第一條ニ掲グルモノノ外電氣ヲ供給又ハ使用スル事業ニ關シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ノ規定ヲ準用スルコトヲ得

第十八條 電氣工作物ヲ損壞シ之ニ物品ヲ接觸シ又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ電氣ノ供給又ハ使用ヲ妨害シタル者ハ四年以下ノ懲役又ハ千圓以下

ノ罰金ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十九條 電氣事業者ノ承諾ヲ得シテ濫ニ電氣工作物ノ施設ヲ變更シタル者ハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第二十條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ許可又ハ認可ヲ受ケテ爲スヘキ行爲ヲ許可又ハ認可ヲ受ケスシテ爲シタル者又ハ第六條若ハ第十四條ノ二ニ依リ命令ニ違反シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十一條 電氣事業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第二十二條 明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ犯罪ニ之ヲ準用ス

電氣事業法施行規則 (明治四十四年九月五日)

【沿革】 大正二年六月令第五八號、同年十月同第九二號、同四年二月同第一二號、同五年二月同第六號、同年十月同第五五號、同十年五月同第二五號、同十四年五月同第三二號、同十五年六月同第二三號改正

目次
第一章 事業ノ創設及變更
第二章 工事施行
第五編 通信、交通、電氣 第三章 電氣、瓦斯

第三章 土地立入、植物ノ伐除移植、土地使用、地中電氣工作物位置變更、電氣ノ流用並裁定

第四章 主任技術者

第五章 検査

第六章 業務

第七章 監査

第八章 罰則

附則

第一章 事業ノ創設及變更

第一條 電氣事業經營ノ許可申請ニハ左ノ書類ヲ具備スヘシ

一 起業目録見書

二 工事設計書

三 工事費概算書 第一號様式ニ依リ調製スヘシ

四 事業上ノ收支概算書 第二號様式ニ依リ調製スヘシ

前項ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添付スヘシ

一 水力ヲ原動力ニ使用セムトスルモノハ發電水力ノ使用ニ關スル當該官廳ノ許可書並命令書ノ謄本、未ダ其ノ許可ヲ得サルモノハ其ノ願書ヲ當該官廳ニ提出シタルコトヲ記載セル書面

二 他ヨリ受電スル電力ニ依リ電氣事業ヲ經營セムトスルモノハ其ノ供給者トノ契約書、受電地點、送電ノ責任分界、受電電力、受電時ノ他受電條件ヲ具シ、電氣方式、周波數、受電電壓、契約期間其備スルコトヲ要スノ謄本

- 三 會社ヲ設立セムトスルモノニ在リテハ定款ノ際本、組合事業ニ在リテハ其ノ契約書ノ際本
 - 四 既設會社ノ事業ニ在リテハ定款及會社登記簿ノ際本並株主總會若ハ社員ノ電氣事業經營ニ關スル議事及決議録ノ際本ノ經營ノ目的トスルモノニ在リテハ定款及會社登記簿ノ際本ヲ除ク
 - 五 公共團體ノ事業ニ在リテハ其ノ團體ノ電氣事業經營ニ關スル決議書ノ際本
 - 六 電氣鐵道(電氣事業法第一條第二號ノ鐵道及軌道ヲ謂フ以下之ニ同シ)事業ニ在リテハ地方鐵道免許狀ノ際本、軌道敷設免許狀ノ際本、但シ命令書アルモノハ各其ノ際本、未タ其ノ免許又ハ特許ヲ得サルモノハ其ノ願書ヲ當該官廳ニ提出シタルコトヲ記載セル書面
- 第二條** 電氣供給事業ノ起業目論見書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一 商號又ハ名稱及主タル事務所ノ設置地
 - 二 目的電壓又ハ電
 - 三 電氣供給事業以外ノ事業ヲ兼營セムトスルモノハ其ノ事業ノ大要ヲ附記スヘシ
 - 四 供給區域(特殊ノ事由アル場合ヲ除ク)ノ外市町
 - 五 平面圖(供給區域ノ境界、郡市區町村又ハ大字界及其ノ名稱、主要ナル市街、村落、道路、鐵道、軌道、山川、港灣要塞地等ヲ記載スヘシ)ヲ添附スヘシ

- 四 事業資金ノ總額及其ノ出資ノ方法(電氣事業以外ノ事業ヲ兼營セムシテ記載スヘシ)
 - 三 電氣鐵道ノ起點、終點、終點トモ道府縣郡市區町村名ヲ記載スヘシ
 - 二 電氣鐵道ノ種類、地方鐵道、軌道等ノ區別ヲ記載スヘシ
 - 一 商號又ハ名稱及主タル事務所ノ設置地
- 第三條** 電氣鐵道事業ノ起業目論見書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一 商號又ハ名稱及主タル事務所ノ設置地
 - 二 電氣鐵道ノ種類、地方鐵道、軌道等ノ區別ヲ記載スヘシ
 - 三 電氣事業以外ノ事業ヲ兼營セムトスルモノハ其ノ事業ノ大要ヲ附記スヘシ
 - 四 電氣鐵道ノ起點、終點、終點トモ道府縣郡市區町村名ヲ記載スヘシ
 - 五 平面圖(縮尺二萬五千分ノ一以上(市街地ノ部分ハ別ニ縮尺二千五百分ノ一以上)ノモノヲ添附スヘシ)トシ電氣鐵道ノ位置、單軌、複軌、複軌ノ別、其ノ經過スル道府縣郡市區町村ノ境界及名稱、地勢、停車場ノ位置及名稱、主要ナル市街、村落、電氣鐵道ノ位置ヨリ凡二町以内ニ在ル他ノ鐵道又ハ軌道ノ位置、電氣鐵道ノ位置ヨリ凡一町以内ニ在ル架空電氣鐵道ノ位置、單線式其ノ他電氣鐵道ノ一部トシテ大地ヲ使用スル法式ノ電氣鐵道ニ在リテハ電氣鐵道ノ位置ヨリ凡九町(電氣工作物規程本則第二百二十四條ノ規定ニ依リ施設スル場合ハ一町)以内ニ在ル水道管、瓦斯管、地中電線其ノ他地中施設金屬管ノ位置並電氣鐵道ノ距離ヲ半哩毎ニ記載スヘシ添附スヘシ
 - 四 事業資金ノ總額及其ノ出資ノ方法(電氣事業以外ノ事業ヲ兼營セムシテ記載スヘシ)

第四條 工事設計書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 發電所、變電所、蓄電所ノ名稱及位置(道府縣郡市區町村名及受電ニ依リ電氣事業ヲ管轄セムトスルモノニ在リテハ其ノ供給者及受電地點)道府縣郡市區町村名及地番ヲ記載スヘシ若シ其ノ地點方發電所又ハ蓄電所内ナルトキハ其ノ旨ヲ附記スヘシ
- 二 送電線路ノ名稱、區間(各送電線路毎ニ區別シ其ノ連絡スル發電所、變電所及蓄電所ノ出力(「キロワット」數)又ハ「キロヴォルト」數)ノ經過地(縣郡市區町村名ヲ記載スヘシ)及其ノ互長
- 三 配電線路又ハ饋電線路中發電所、變電所、蓄電所、受電地點ヨリ供給區域又ハ電氣鐵道線路ニ連スル部分ノ經過地(配電線路及饋電線路ニ區別シ道府縣郡市區町村名ヲ記載スヘシ)
- 四 平面圖(縮尺五萬分ノ一以上)トシ發電所、變電所、蓄電所、受電地點境界及名稱、地勢、主要ナル市街、ヲ添附スヘシ但シ第二條又ハ第三條ノ平面圖中ニ記載スルトキハ本圖面ヲ省略スルコトヲ得
- 五 送電系統(六號樣式ニ依ル)圖面ヲ添附スヘシ
- 六 電氣方式(各發電所、變電所、蓄電所、受電地點、送電線路毎ニ區別シ其ノ方式ヲ特別高壓、電壓、低壓、直流、交流、相、路線式、三線式其ノ他ノ方式ヲ周波數、送電線ノ最大電壓、各送電線路毎ニ區別シ記載スヘシ)
- 七 最大電壓(特別高壓、高壓、低壓)及需用者ノ端子電壓(電燈、電機力裝置ノ端子電壓)ノ記載スヘシ
- 八 發電所及受電地點ノ出力(「キロワット」數)各發電所及受電地點ノテハ受電電力及受電時間)ヲ常時(一年ヲ通シ)連續使用シ得ルモノニシテ特殊(一年ノ内一定時期ヲ限リ)使用シ得ルモノニシテ

- 六 電氣鐵道方式(各電氣鐵道線路毎ニ區別シ直流、交流、相、架空單線式、表面接觸式其ノ他方及電車線ノ電壓、各電氣鐵道線路毎ニ區別シ記載スヘシ)
- 七 電氣鐵道方式(各電氣鐵道線路毎ニ區別シ直流、交流、相、架空單線式、表面接觸式其ノ他方及電車線ノ電壓、各電氣鐵道線路毎ニ區別シ記載スヘシ)
- 八 原動力(各發電所毎ニ區別シ水力、汽力、瓦斯力、其ノ他原動力ノ別、使用水量(發電所出力ノ區別ニ依ル)、有效落差、理論馬力數、汽力、瓦斯力等ニ在リテハ其ノ馬力數ヲ記載スヘシ)
- 九 電氣事業經營許可申請書ハ之ヲ選任大臣ニ提出シ同時ニ其ノ副本ヲ事業地ヲ管轄スル地方官及通信局長ニ提出スヘシ但シ事業地カ二以上ノ管内ニ跨ル場合ニハ副本ヲ添附スヘシ圖面ハ各管内ノ關係部分ノミヲ具シテ提出スルコトヲ得
- 第十條 電氣事業經營ノ許可ヲ得タル後起業目論見書又ハ工事設計書中左ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ關係ノ書類、圖面ヲ具シ選任大臣ニ許可ヲ申請スヘシ
- 一 目的
- 二 供給區域

- 三 電氣鐵道ノ起點、終點及經過地ニ起點、終點及經過地トモ市街地ニ在リテハ道府縣郡町村
- 四 發電所、變電所、蓄電所ノ位置、受電地點及供給者
- 五 送電線路ノ區間及經過地、配電線路又ハ饋電線路ノ經過地 電線路ニ在リテハ之ヲ創除スル場合ヲ除ク
- 六 電氣方式、周波數、送電線ノ最大電壓及需用者ノ端子電壓 電燈ノ端子電壓
- 七 發電所及受電地點ノ出力並總出力
- 八 電線路ノ種類 架空線ヲ地中線ニ變
- 九 電氣鐵道方式及電車線ノ電壓
- 十 原動力其ノ他原動力ノ別
- 第十二條ノ規定ニ依リ工事施行ノ認可ヲ得タル後ニ於テ前項第六號乃至第九號ノ事項ノミヲ變更セムトスル場合ハ第十八條ノ規定ニ依ル第四十六條ノ規定ニ依リ使用認可ヲ得タル後ニ於テ供給區域ヲ擴張セムトスルトキハ供給區域力調書ヲ添付スヘシ
- 第七條 第一條第二項第一號乃至第三號、第四號 定款ニ若ハ第六號ノ書類ニ記載セル事項又ハ起業目論見書若ハ工事設計書中第六條第一項ニ掲グルモノヲ除ク他ノ事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遅滞ナク通信大臣ニ届出ツヘシ
- 第八條 電氣事業者電氣事業ヲ譲リ渡サムトスルトキハ左ノ書類ヲ具シ當事者ヨリ通信大臣ニ認可ヲ申請スヘシ
 - 一 讓渡契約書ノ謄本
 - 二 讓渡人又ハ讓受人力會社ナルトキハ讓受渡ニ關スル株主總會若ハ社員ノ議事及決議錄ノ謄本又ハ之ニ代リ得ヘキ書面、公共團體ナ

- ルトキハ讓受渡ニ關スル其ノ團體ノ決議書ノ謄本
- 三 讓受人力電氣事業者ニ非サル會社ナルトキハ定款及會社登記簿ノ謄本、會社發起人ナルトキハ定款ノ謄本、組合ナルトキハ組合契約書ノ謄本
- 四 讓受後ニ於ケル事業上ノ收支概算書ヲ調製スヘシ 及兼營事業計畫說明書
- 五 電氣事業ノ一部ヲ譲リ渡サムトスルモノナルトキハ讓渡スヘキ事業ノ範圍ヲ記載セル書類、圖面 第二條乃至第四條ニ準スル事項設計書(配電線路、饋電線路及ヒ需用者端子電壓ニ關シテ特ニ讓渡人及讓受人ニ分屬スヘキ部分ヲ明示スヘシ)ヲ添付スヘシ
- 受渡ニ伴ヒ第六條第一項ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ關係ノ書類、圖面
- 電氣事業ト共ニ兼營事業ヲ譲リ渡サムトスルモノハ前項ノ申請書ニ其ノ旨附記スヘシ
- 第八條ノ二 電氣事業者タル會社カ左記各號ニ掲グル會社ト合併セムトスルトキハ當事者ヨリ通信大臣ニ認可ヲ申請スヘシ
 - 一 電氣事業者
 - 二 電氣ノ供給ヲ目的トシテ電氣事業法準用ノ認定又ハ自家用電氣工作物施設ノ認可ヲ得タルモノ
- 前項ノ認可申請ニハ左ノ書類ヲ具備スヘシ
 - 一 合併契約書ノ謄本
 - 二 當事者タル會社ト合併ニ關スル株主總會又ハ社員ノ議事及決議錄ノ謄本
 - 三 合併ノ相手方カ電氣事業者ニ非サル會社ナルトキハ定款及會社登記簿ノ謄本

記簿ノ謄本、合併ニ因リ新ニ會社ヲ設立セムトスルモノニ在リテハ定款ノ謄本

四 合併後ニ於ケル事業上ノ收支概算書 第二號様式ニ依 及兼營事業計畫說明書

第九條 前二條ノ規定ニ依ル讓渡又ハ合併ヲ終了シタルトキハ遅滞ナク當事者ヨリ通信大臣ニ届出ツヘシ

電氣事業ヲ相續シタル者ハ戶籍謄本ヲ添ヘ前項ノ規定ニ準シ届出ツヘシ

第十條 (削除)

第十條ノ二 電氣事業法第一條第一號ノ電氣事業者カ工場抵當法ニ依リ其ノ事業ノ全部ニ屬スルモノヲ以テ工場財團ヲ設定シタル場合ニ於テ其ノ競落人カ左記各號ノ一ニ該當スルモノナルトキハ第八條ノ規定ニ依ラスシテ其ノ電氣事業ヲ讓受ケルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第九條第一項ノ規定ヲ準用ス

一 電氣事業法第一條第一號又ハ第二號ノ電氣事業者タル株式會社

二 讓受ケムトスル電氣事業ノ經營ヲ目的トスル株式會社ノ發起人トシテ七人以上合同シ連帶責任ヲ以テ競買若ハ入札ノ申込ヲ爲シタル者

第十條ノ三 競落人カ前條第二號ニ該當スル者ナルトキハ遅滞ナク會社ヲ成立セシメ其ノ旨届出ツヘシ

第十一條 第五條ノ規定ハ電氣事業開始期間伸長ノ申請及第六條乃至第十條ノ三ノ規定ニ依ル申請並届出ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二章 工事施行

第十二條 電氣事業經營ノ許可ヲ得タル者ハ指定ノ期間内ニ通信大臣ニ工事施行ノ認可ヲ申請スヘシ但シ電氣供給用ニシテ使用電壓一萬五千「ヴォルト」以下ノモノニ關シテハ發電所ヲ設置セサル場合ニ限リ所轄通信局長ニ認可ヲ申請スヘシ

前項但書ノ場合ニ於テ高壓又ハ低壓ノ配電工事 電力ノ供給ノ目的ルモノニシテ關係ノ發電所、變電所、蓄電所、受電地點等ニ付工事施行ノ認可ヲ得タルモノナルトキハ第十八條第一項ニ掲グル事項ノ變更ヲ伴ハサル限リ前項但書ノ規定ヲ適用セス此ノ場合ニ於テハ其ノ工事ヲ伴ハサル限リ前項但書ノ規定ヲ適用セス此ノ場合ニ於テハ其ノ工事方法ヲ具シ工事著手前指定ノ工事施行認可申請期間内ニ所轄通信局長ニ届出ツヘシ

前二項ノ規定ハ第六條第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ得タル場合ニ之ヲ準用ス

第一項及第三項ノ規定ニ依ル申請書ハ電氣事業經營許可申請書又ハ起業目論見書若ハ工事設計書中ノ事項變更ノ許可申請書ト同時ニ之ヲ提出スルコトヲ得

第一項及第三項ノ規定ニ依リ通信大臣ニ認可ヲ申請スル場合ハ同時ニ其ノ副本ヲ所轄通信局長ニ提出スヘシ

第十二條ノ二 電氣事業者指定ノ期間内ニ工事施行ノ認可申請又ハ其ノ届出ヲ爲シ得サルトキハ理由ヲ具シ前條ノ區別ニ依リ通信大臣又ハ通信局長ニ期間伸長ノ認可ヲ申請スヘシ

前項ノ規定ニ依リ通信大臣ニ認可ヲ申請スル場合ハ同時ニ其ノ副本ヲ所轄通信局長ニ提出スヘシ

第十三條 第十二條ノ規定ニ依ル申請又ハ届出ニハ左ノ書類及圖面ヲ具
備スヘシ

- 一 工事設計明細書
- 二 實測圖
- 三 工事落成期限書ノ工事ヲ數部ニ區分スル場合ニハ各部
ノ工事毎ニ落成期限ヲ記載スヘシ
- 四 工事豫算書第三號様式ニ依
リ調製スヘシ

第十四條 電氣供給事業ノ工事設計明細書ニハ各送電系統ニ從ヒ左ノ事
項ヲ記載スヘシ

- 一 總出力 第四條第五
號ニ準ス
- 二 發電設備 發電所ノ名稱及位置(道府縣都市町村名及地番
ヲ記載スヘシ)ヲ掲ケ一發電所毎ニ記載スヘシ
- (一) 發電所ノ出力 第四條第五
號ニ準ス
- (二) 原動力設備
- (甲) 水力設備
 - (イ) 河川又ハ湖沼名並取水口及放水口ノ位置
 - (ロ) 使用水量 單位(毎秒立方尺)トシ發電所
出力ノ區別ニ從ヒ記載スヘシ
 - (ハ) 有效落差 單位尺トシ計算
書ヲ添付スヘシ
 - (ニ) 理論馬力數 左ノ算式ニ依リ計算スヘシ
$$\text{理論馬力數} = \frac{\text{落差} \times \text{流量}}{7.46}$$
 - (ホ) 引水方法 取水口ヨリ放水口ニ至ル水路ノ互長ヲ附記スヘシ
 - (ヘ) 水路工作物 堰堤、取水口、制水門、隧道、開渠、蓋渠、木樋、水
路橋、水路管、水槽、放水路、水壓管(保安裝置、吸

- (ト) 出管等ヲモ含ム、沈砂池、土砂吐、餘水路等ノ構造、材料及
施工方法但シ簡單ナル工事ニシテ圖面ノミヲ以テ説明シ得
ルモノハ適宜之ヲ省略スルコトヲ得算式
ヲ以テ計算シタルモノハ之ヲ附記スヘシ
- (チ) 貯水池、調整池 全容量、有效容量、使用方法、構
造、材料、施行方法、地形、地質等
- (ツ) 水車種類、馬力數、回轉數、調速機ノ種
類及箇數(常用ト豫備トノ別)

- (イ) 汽機種類、馬力數、汽壓、汽温、真空度、蒸汽消費量、回
轉數、調速機ノ種類及箇數(常用ト豫備トノ別)
- (ロ) 汽爐種類、汽壓、汽温、蒸發容量、加熱面積、火床面積、有效火
爐容積、過熱面積(獨立過熱器ニ在リテハ其ノ火床面積
ヲモ記載スヘシ)及箇
數(常用ト豫備トノ別)
- (ハ) 蒸汽全消費量ニ對スル計算書ヲ添付スヘシ
- (ニ) 給水設備 唧筒ノ種類、給水容量及箇數(常用ト豫
備トノ別)、原動機ノ種類馬力數及箇數
- (ホ) 凝汽器種類、冷汽面積及箇數並其ノ附屬
機器ノ種類、容量、馬力數及箇數
- (ヘ) 給炭機種類、火床ノ中及長サ汽缸一箇ニ
對スル据付箇數及設計燃燒容量
- (ト) 節炭器、空氣豫熱器種類、加熱
面積及箇數
- (チ) 通風機種類、容量、風壓及箇數、
原動機ノ種類及馬力數

(三)

- (イ) 電氣設備
 - (イ) 發電機 直流、交流ノ別、「キロワット」數又ハ「キロヴォルト
アムペア」數(交流ニ在リテハ力率ヲ記載スヘシ)、電
壓、相、周波數、回轉數、結線法、勵磁法、箇數、(常用ト豫備ト
ノ別)及原動機トノ連結方法、勵磁機ニ關シテハ「キロワツ
ト」數、電壓、回轉數、勵磁法、箇數、常用ト豫備トノ
別)原動機トノ連結方法、原動機ノ種類及馬力數
- (ロ) 機器器具ノ裝置ハ別ニ圖面 平面圖、正面ヲ以テ之ヲ表示スヘシ
- (ハ) 瓦斯力設備 石油其ノ他之ニ類スルモノ
ノ使用スル場合ハ之ニ準ス
- (イ) 機器種類、馬力數、回轉數、點火裝置ノ種類、調
速機ノ種類及箇數(常用ト豫備トノ別)
- (ロ) 瓦斯發生器 種類、燃料ノ種類、發生容量
及箇數(常用ト豫備トノ別)
- (ハ) 洗濯器 種類及 及瓦斯溜ノ大サ
其ノ他附屬設備
- (ニ) 機器器具ノ裝置ハ別ニ圖面 平面圖、正面ヲ以テ之ヲ表示スヘシ
- (イ) 電氣設備
 - (イ) 發電機 直流、交流ノ別、「キロワット」數又ハ「キロヴォルト
アムペア」數(交流ニ在リテハ力率ヲ記載スヘシ)、電
壓、相、周波數、回轉數、結線法、勵磁法、箇數、(常用ト豫備ト
ノ別)及原動機トノ連結方法、勵磁機ニ關シテハ「キロワツ
ト」數、電壓、回轉數、勵磁法、箇數、常用ト豫備トノ
別)原動機トノ連結方法、原動機ノ種類及馬力數

(四)

- (イ) 變壓器 「キロヴォルトアムペア」數、一次電壓、二次電壓、相
周波數、結線法、冷却法及箇數(常用ト豫備トノ別)
- (ロ) 電動發電機、變換機、周波數變換機、整流器 種類、直
流ノ別、「キロワット」數、電壓(交流ニ在リテハ電流ヲモ記
載スヘシ)、相、周波數、回轉數及箇數(常用ト豫備トノ別)
- (ハ) 同期進相機 「キロヴォルトアムペア」數、電壓、周波數、箇數
(常用ト豫備トノ別)、勵磁機「キロワット」數、
送電容量ヲ增加スル目的ヲ以テ設
置スルモノニ在リテハ其ノ計算
- (ニ) 蓄電池 種類、放電時間、
放電容量及箇數
- (ホ) 保安裝置 種類及構造ノ大要(發電機、母線、
變壓器、送電線等ノ保安裝置)
- (ヘ) 機器器具ノ裝置及電線ノ接続ハ別ニ圖面ヲ以テ之ヲ表示スヘシ
- (ト) 送電線路 送電線路ノ名稱、區間及互長(架空線、地中線、
水底線)ヲ掲ケ一電線路毎ニ記載スヘシ
- (チ) 電氣方式 直流、交流、及最大電壓
架空電線路ノ構造
- (ツ) 電線線數、太サ、電線及被覆絶緣物ノ種類、電線地表
支持物 標竿柱間距離、最大柱間距離、木柱(木材ノ種類別)、鐵
塔、鐵筋混凝土柱ヲ使用スル場合
ハ其ノ強サニ關スル計算及重量
- (テ) 塔、鐵筋混凝土柱ヲ使用スル場合
ハ其ノ強サニ關スル計算及重量
- (ト) 碍子 種類、大サ(懸垂型ノモノニ在リテハ一連ノ
碍子 箇數ヲモ記載スヘシ)、試驗電壓及試驗時間

第五編 通信、交通、電氣 第三章 電氣、瓦斯

其ノ他構造ノ大要 閉閉所ノ工事並他ノ工作物トノ關係上施設ス
海峽等ヲ横斷スル場
合ノ工事ノ構造等

六萬「ヴォルト」以上ノ送電線路ニ在リテハ別ニ電氣工作物規程
本則第四十二條ノ規定ニ依ル誘導電流ニ關スル計算書ヲ添付ス
ヘシ

(ハ) 地中電線路及水底電線路ノ構造電線 絕緣物ノ種類、構造、被覆
數及
太サ

布設方法 踏架、線架、直接埋設等ノ
別ニ依ル布設方法ノ大要

其ノ他構造ノ大要 地中函、接續函等ノ構造並他ノ工作物
トノ關係上施設スヘキ工事ノ構造等

(ニ) 保安裝置 (イ) 地線、避雷器等ノ構造ノ大要
(ロ) 保安上必要ナル電話設備

(イ) 同線ノ方式、回線圖及設置場所、送電線路ニ添架
セサルモノハ其ノ經過地名、電線ノ種類及太サ

送電線路ノ構造ハ別ニ圖面ヲ以テ之ヲ表示スヘシ

四 變電所内設備 變電所ノ名稱及位置(道府縣郡市町村名及地番
ヲ記載スヘシ)ヲ掲ケ一變電所毎ニ記載スヘシ

(イ) 變電所ノ出力 第四條第五
號ニ準ス

(ロ) 發電設備ノ(三)
變壓器ノ(ロ)ニ準ス

(イ) 受電地點ノ出力 第四條第五
號ニ準ス

(ロ) 電氣方式 直流、交流、周波數及受電電壓
相及線式

(ハ) 送電上ノ責任分界トナルヘキ閉閉器 屋内ニ於ケル閉閉器又ハ
閉閉器ニシテ執レモ常ニ監視檢漏器及其ノ他ノ設備
視人ヲ付スルモノナルコト

(ニ) 保安裝置 種類及構
造ノ大要

電線ノ接續及責任ノ分界ハ別ニ圖面ヲ以テ之ヲ表示スヘシ

七 配電設備

(イ) 電氣方式 直流、交流、配電電壓及需用者ノ端子電壓 電燈、電動
力裝置、
端子電壓

(ロ) 架空電線路ノ構造

電線ニ在リテハ線條數、太サ、電線相互ノ間隔及燃架ノ方法
電線及被覆絶緣物ノ種類(高壓、低壓ノ別)、特別高壓ノモノ

支持物 送電線路ノ(ロ)ノ支
持物ノ項ニ準ス

碍子(特別高壓ノモノニ限ル) 送電線路ノ(ロ)ノ碍
子ノ項ニ準ス

其ノ他構造ノ大要 送電線路ノ(ロ)ノ其ノ他
構造ノ大要ノ項ニ準ス

電線路ノ互長ヲ附記スヘシ

第五編 通信、交通、電氣 第三章 電氣、瓦斯

第五編 通信、交通、電氣 第三章 電氣、瓦斯

第五編 通信、交通、電氣 第三章 電氣、瓦斯

第五編 通信、交通、電氣 第三章 電氣、瓦斯

(ハ) 電動發電機、廻轉變流機、周波數變換機、整流器 發電設備ノ(三)
(ハ)ニ準ス

(ニ) 同期進相機 發電設備ノ(三)
(二)ニ準ス

(ホ) 蓄電池 發電設備ノ(三)
(ホ)ニ準ス

(ヘ) 保安裝置 種類及構
造ノ大要

機械器具ノ裝置及電線ノ接續ハ別ニ圖面ヲ以テ之ヲ表示スヘシ

五 蓄電所内設備 蓄電所ノ名稱及位置(道府縣郡市町村名及地番
ヲ記載スヘシ)ヲ掲ケ一蓄電所毎ニ記載スヘシ

(イ) 電依池 發電設備ノ(三)
(イ)ニ準ス

(ロ) 昇壓機「キロワット」數、電
壓、回轉數及筒數 及其ノ附屬機器

(ハ) 保安裝置 種類及構
造ノ大要

機械器具ノ裝置及電線ノ接續ハ別ニ圖面ヲ以テ之ヲ表示スヘシ

六 受電設備 受電地點ノ位置(道府縣郡市町村名及地番ヲ記載スヘシ)
及電力供給者ヲ掲ケ一地點毎ニ記載スヘシ若シ其ノ地點
力發電所、變電所、又ハ蓄電所内ナルトキハ發電設備、
變電所内設備又ハ蓄電所内設備ノ項ニ併記スヘシ

(ハ) 地中電線路及水底電線路ノ構造
電線 種類、心線及被覆絶緣物ノ種類(特別高壓、低壓ノ別)、
特別高壓ノモノニ在リテハ線條數、心線ノ數及太サ
布設方法 送電線路ノ(ハ)ノ布
設方法ノ項ニ準ス

其ノ他ノ構造ノ大要 送電線路ノ(ハ)ノ其ノ他
構造ノ大要ノ項ニ準ス

(ニ) 電線路ノ互長ヲ附記スヘシ

變壓器 高壓又ハ低壓ノモノニ在リテハ一次電壓、二次電壓、相、
特別高壓ノモノニ在リテハ其ノ位置(道府縣郡市町村名
及地番ヲ記載スヘシ)

及發電設備ノ(三)ノ(ロ)ノ事項

(ホ) 電動發電機、廻轉變流機、周波數變換機、整流器 特別高壓ノ
其ノ位置(道府縣郡市町村名及地番ヲ記
載スヘシ)及發電設備ノ(三)ノ(ハ)ノ事項

(ヘ) 同期進相機 特別高壓ノモノニ限リ其ノ位置(道府縣郡市町村
名及地番ヲ記載スヘシ)及發電設備ノ(三)ノ(ニ)ノ事
項

(ト) 保安裝置 (イ) 種類及構造ノ大要
(ロ) 送電線路ノ(二)ノ(ロ)ニ準ス

配電線路ノ構造並特別高壓用機械器具ノ裝置及電線ノ接續ハ別ニ

圖面ヲ以テ之ヲ表示スヘシ

工事設計明細書ニハ送電關係一覽圖第七號様式ニ依リ添附スヘシ
水路、貯水池、調整池及之ニ沿ヒ設置スル監視人詰所、發電所、變電所、蓄電所並閉所構内及受電地點等ニ於テ電燈又ハ電力ヲ使用セムトスルモノハ第一項各號ノ事項中ニ其ノ設備ヲ明記スヘシ
電氣ノ工作物規程ニ依ル特殊ノ設計又ハ制限外施設ニ關シテハ第一項各號ノ事項中ニ其ノ工事方法ヲ詳記スヘシ
第十五條 電氣鐵道事業ノ工事設計明細書ニハ各送電系統ニ從ヒ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 總出力 前條第一項第一號ニ準ス
- 二 發電設備 前條第一項第一號ニ準ス
- 三 送電線路 前條第一項第一號ニ準ス
- 四 變電所内設備 前條第一項第一號ニ準ス
- 五 蓄電所内設備 前條第一項第一號ニ準ス
- 六 受電設備 前條第一項第一號ニ準ス
- 七 饋電線路
 - (イ) 電氣方式 直流、交流、及電壓 前條第一項第一號ニ準ス
 - (ロ) 架空饋電線路ノ構造 前條第一項第一號ニ準ス
 - (ハ) 地中饋電線路ノ構造 前條第一項第一號ニ準ス

前條第三項ニ規定セル場所、車庫構内、軌道ニ沿ヒ建設スル電柱及軌道ニ沿ヒ設置スル保線又ハ運輸係留詰所等ニ於テ電燈又ハ電力ヲ使用セムトスルモノニ在リテハ第一項各號ノ事項中ニ其ノ設備ヲ明記シテ配電事項ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ
電氣工作物規程ニ依ル特殊ノ設計又ハ制限外施設ニ關シテハ第一項各號ノ事項中ニ其ノ工事方法ヲ詳記スヘシ
第十六條 實測圖ハ左ノ區別ニ依リ調製スヘシ

- 一 水路、貯水池及調整池實測平面圖 縮尺六十分ノ一以上トシ堰堤、開渠、暗渠、木樋、水路橋、水路管、貯水池、調整池、水櫃、餘水路、水壓管、發電所、放水路ノ位置、其ノ經過スル道府縣郡市町村及附近町村ノ境界及名稱、地勢等ヲ記載スヘシ
- 二 水路、貯水池及調整池實測縱斷面圖 縮尺長サ平面圖ト同一ニシテ堰堤、取水口、制水門、沈砂池、隧道、開渠、暗渠、木樋、水路橋、水路管、貯水池、調整池、水櫃、餘水路、水壓管、發電所、放水路ノ位置、基準線(高サ)可成陸地測量部水準ニ準據スヘシ、距離、追加距離、地盤高、切取盛土ノ高、水路、貯水池、調整池ノ底面ノ高サ、計畫水位(水面勾配)ヲ記入スヘシ、取水口及放水口ノ最高水位、平水位、最低水位ヲ記載スヘシ
- 三 水路、貯水池及調整池實測斷面圖 縮尺二百分ノ一以上トシ計畫水位、法勾配、法面保護工事等ヲ適當ノ斷面ニ依リ記載スヘシ
- 四 送電線路實測平面圖 市街地及其ノ附近部分ハ縮尺二千分ノ一以上其ノ他ノ部分ハ縮尺五千分ノ一以上トシ發電

饋電線路ノ構造ハ別ニ圖面ヲ以テ之ヲ表示スヘシ
八 軌車線路及軌道 電氣鐵道ノ名稱、區間及互長(單軌道、複軌道別)ヲ掲ケ一線路毎ニ記載スヘシ

- (イ) 電氣鐵道方式 第四條第七號ニ準ス
- (ロ) 電車線路及軌道ノ構造

電車線 架空式ノ場合)種類、形狀、太サ、線間距、離、電線吊架法及區別法
支持物(架空式ノ場合) 標準柱間距離、木柱(木材ノ種類別)、鐵柱、鐵塔等ノ別及側柱、中央柱ノ別
電道 單軌道、複軌道ノ別、軌間、最大勾配、最小半徑、軌條ノ重量、形狀、接續法及「ボンド」並補助線ノ種類、太サ及施設方法
第三軌條式、踏車式、表面接觸式等ニ在リテハ其ノ施設方法、電氣信號裝置、弱電流ニ依ルモノヲ除ク

電車線路及車道ノ構造ハ別ニ局部圖面及橫斷面圖ヲ以テ之ヲ表示スヘシ
工事設計明細書ニハ送電關係一覽圖第七號様式ニ依リ添附スヘシ
載セル車輛設計書ヲ添付スヘシ

- 一 電氣機關車 重量、電動機ノ馬力數及箇數、制動機及數
- 二 電車
 - (イ) 客車 重量、乘車人員、電動機ノ馬力數及箇數、制動機及數、離器ノ種類、並車臺數(「ボギー」車、及四輪車等ノ別)
 - (ロ) 貨車 重量、積載量、電動機ノ馬力數及箇數、制動機及數、離器ノ種類、並車臺數
- 三 附隨車 重量、乘車人員、貨車ナルトキハ積載量)及車臺數
車輛内電線ノ接続及車輛ノ構造ハ別ニ圖面ヲ以テ之ヲ表示スヘシ

所、變電所、蓄電所、受電地點、閉閉所ノ位置及電線路ノ中心線(架空線、地中線、水底線ノ別)並其ノ經過スル道府縣郡市町村及附近町村ノ境界及名稱、地勢、電線路ノ位置ヨリ凡一町以内ニ在ル電氣鐵道、軌道、電柱地表上ノ高サ、一倍以内ニ在ル他ノ電線路及鐵道、軌道、道路、要塞此トノ關係ヲ記載スヘシ)

五 配電線路實測平面圖 第四號ニ準ス

六 饋電線路、電車線路及軌道實測平面圖(市街地及其ノ附近部分ハ別ニ二千五百分ノ一以上トシモノヲ添付スヘシ)饋電線、電車線及電氣鐵道ノ位置(單軌道、複軌道ニ區別シテ)並其ノ經過スル道府縣郡市町村ノ境界及名稱、地勢、停車場ノ位置及名稱、道路ノ幅員、其ノ鐵道若ハ軌道ト交叉スル箇所アルトキハ其ノ位置、他ノ電線路ノ位置、電氣鐵道ノ位置ヨリ凡二町以内ニ在ル他ノ鐵道又ハ軌道ノ位置、電氣鐵道ノ位置ヨリ一町以内ニ在ル架空電氣鐵道ノ位置、單軌式其ノ他電線ノ一部トシテ大地ヲ使用スル方式ノ電氣鐵道ニ在リテハ電氣鐵道ノ位置ヨリ凡九町)電氣工作物規程本則第二百二十四條ノ規定ニ依リ施設スル場合ハ一町)以内ニ在ル水道管、瓦斯管、地中電線其ノ他地中施設金屬管ノ位置、發電機、變壓器又ハ廻轉變流機ノ一極ヲ接地シタル點ノ位置ヲ詳細ニ記載シ且電氣鐵道ノ距離ヲ半哩毎ニ記載スヘシ
七 軌道實測縱斷面圖 縮尺長サ平面圖ト同一ニシテ高サハ千分ノ一以上トシ中心線、地曲ノ高低、築堤、切取、隧道、橋梁ノ位置、道路、他ノ鐵道若ハ軌道ト交叉スル場合ニ在リテハ其ノ位置、軌道ノ勾配及經過地名等ヲ記載スヘシ
前項第四號及第五號ノ圖面ニハ別ニ路線位置ノ概要ヲ示セル平面圖縮尺五分ノ一以上トシ第四條ノ添付スヘシ

第十四條 第三項及前條第三項ノ場合ニ於テハ關係電線路ノ位置ヲ第一項第一號及第四號乃至第六號ノ圖面中ニ記載スヘシ
第一項各號ノ圖面ハ地況及電氣工作物ノ位置、構造其ノ他必要事項ノ判別ニ妨ナキ限リ縮尺ヲ適宜變更シ又ハ之ヲ分離シ若ハ併合シテ記載スルコトヲ得

第十七條 許可ヲ得タル事業ノ全部ニ對シ其ノ工事施行ノ認可ヲ一時ニ申請シ得サルトキハ理由ヲ具シ分割シテ認可ヲ申請スルコトヲ得
水力設備、鐵柱、鐵塔、鐵筋混攪土柱ニ依ル電線路又ハ電氣工作物規程ニ依ル特殊ノ設計若ハ制限外施設ヲ含ム電氣工作物ニシテ之カ設計、施工又ハ計算等ニ時日ヲ要スルモノハ適宜之ヲ分離シテ認可ヲ申請スルコトヲ得

第十八條 電氣事業者第十二條ノ規定ニ依リ工事施行ノ認可ヲ得又ハ其ノ届出ヲ爲シタル後工事設計明細書中左ニ掲グル事項ヲ變更セムトスルトキハ關係ノ書類圖面ヲ具シ通信大臣ニ認可ヲ申請スヘシ但シ電氣供給用ニシテ使用電壓一萬五千「ヴォルト」以下ノモノノ變更ニ關シテハ發電設備又ハ受電地點ノ出力ヲ變更セサル場合ニ限り所轄通信局長ニ認可ヲ申請スヘシ

- 一 總出力
- 二 發電設備
- (一) 發電所ノ出力
- (二) 原動力設備
- (甲) 水力設備

(イ) 水路工作物、貯水池、調整池、理論馬力數ニ二割以上ノ變更ヲ施工方法ヲ著シク變更セムトスル場合ニ限リ
水車種類、馬力數及箇數
汽力設備
(イ) 汽機種類、馬力數及箇數
(ロ) 汽機種類、加熱面積及箇數
(ニ) 瓦斯力設備ヲ石油其ノ他之ニ類スルモノ
(イ) 機關種類、馬力數及箇數
(ロ) 瓦斯發生器種類、發生容量及箇數

- (三) 電氣設備
- (イ) 發電機 箇數(常用ト豫備トノ別)、直流、交流ノ別及周波數
- (ロ) 變壓器 線數(常用ト豫備トノ別)、結線法及相
- (ハ) 電動發電機、迴轉變流機、周波數變換機、整流器種類、直流、交流ノ別及周波數

「キロワット」數、箇數(常用ト豫備トノ別)及周波數

(ニ) 同期進相機 箇數(常用ト豫備トノ別)、送電容量ヲ增加スル「目數」及其ノ計算

- (ホ) 保安裝置ノ種類
- (イ) 送電線路
- (ロ) 電氣方式相及最大電壓
- (ハ) 架空電線路ノ構造

電線 線條數、電線ノ種類及太サ
(一) 割以上ノ變更ニ限リ
支持物 標準柱間距離、木柱、鐵柱、鐵塔、鐵筋混攪土柱ノ別及其ノ構造、鐵柱、鐵塔、鐵筋混攪土柱ヲ使用スル場合ハ其ノ強サニ關スル計算
碍子「ピン」型、懸垂型ノ別
地中電線路、水底電線路ノ別及其ノ構造

- (ハ) 電線 線條數、心線
- (ニ) 布設方法 踏架、線渠、直埋設等ノ別
- (イ) 保安裝置 避雷器
- (ロ) 變電所内設備
- (イ) 變電所ノ出力 電氣鐵道用ノ
- (ロ) 變壓器ノ(ロ)ニ準ス

- (ハ) 電動發電機、迴轉變流機、周波數變換機、整流器ノ(ハ)ニ準ス
- (ニ) 同期進相機 發電設備ノ(三)ニ準ス
- (ホ) 保安裝置ノ種類
- 五 受電設備
- (イ) 受電地點ノ出力
- (ロ) 電氣方式 直流、交流ノ周波數及受電電壓
- (ハ) 送電上ノ責任分界トナルヘキ閉閉器、檢漏器及其ノ他設備
- (ニ) 保安裝置ノ種類
- 六 配電設備
- (イ) 電氣方式相及配電電壓及需用者ノ端子電壓 電燈ノ端
- (ロ) 架空電線路、地中電線路、水底電線路ノ別及其ノ構造 架空電線路ニ在リ
- (ハ) 塔、鐵筋混攪土柱ヲ使用スル場合ハ其ノ強サニ關スル計算、地中電線路及水底電線路ニ在リテ
- (イ) 踏架、線渠、直埋設等ノ別
- (ロ) 變壓器 一萬五千「ヴォルト」ヲ超過スルモノニ限リ其ノ位置及發電設備ノ(三)ノ(ロ)ノ事項
- (ニ) 保安裝置ノ種類

七 電氣鐵道用饋電線路

(イ) 電氣方式直流、交及電壓

架空電線路、地中電線路ノ別及其ノ構造(配電設備ノ準ス)

(ロ) 電氣鐵道方式及電線ノ電壓

電車線路及軌道ノ構造

(イ) 電車線種類、形狀、太サ、(一割以上ノ變更ニ限ル)及電線吊架法

支持物 木柱、鐵柱、鐵塔等ノ別

軌道「ボンド」並補助線ノ種類、太サ及施設方法

第三軌條式、暗渠式、表面接觸式等ノ施設方法

工事落成期限ヲ變更シタルトキハ遲滞ナク工事施行ノ認可ヲ得又ハ其ノ届出ヲ爲シタル官廳ニ届出ツヘシ

前各項ノ規定ニ依リ通信大臣ニ認可ヲ申請シ又ハ届出ヲ爲ス場合ハ同時ニ其ノ副本ノ所轄通信局長ニ提出スヘシ

第十九條 電氣事業者第十二條ノ規定ニ依リ工事施行ノ認可ヲ得又ハ届出ヲ爲シタル後電線路又ハ軌道ヲ延長、増設若ハ短縮シ又ハ其ノ位置ヲ變更セムトスルトキハ前條第一項ノ規定ヲ準用ス但シ高壓若ハ低壓ノ配電線路電力供給ノミヲ目的トスル未開業饋電線路、電車線路及涉リ線、待避線、側線タル軌道ノ延長、増設、短縮、位置變更並左右各二十「メートル」ヲ超エサル軌道ノ位置變更ニシテ前條第一項ニ掲タル

事項ヲ變更セサルモノナルトキハ實測圖第十六條ヲ添へ配電線路ニ關シテハ所轄通信局長ニ事業ヲ開始セル地域内ノモノニ關シテハ六箇月毎ニ取纏ムルコト 饋電線路、電車線路及軌道ニ關シテハ通信大臣ニ遲滞ナク届出ツヘシ

架空引込線、架空連接引込線、地中引込線、發電所、變電所、蓄電所、開閉所及需用者ノ構内ニ施設スル電線路、第十四條第三項及第十五條第三項ノ規定ニ依リ電線路、車庫線及車庫引込線タル軌道並之ニ附隨スル電線路ニ關シテハ前項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケ又ハ届出ヲ爲スコトヲ要セス

第一項ノ規定ニ依リ通信大臣ニ認可ヲ申請シ又ハ届出ヲ爲ス場合ハ同時ニ其ノ副本ノ所轄通信局長ニ提出スヘシ

第二十條 認可ヲ經テ施設シタル電氣工作物ヲ滅失又ハ損壞シタルトキハ其ノ復舊工事ハ認可ヲ得シテ著スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ發電所、變電所又ハ蓄電所内ニ於ケル復舊工事ニ關スルトキハ第十八條第一項ニ掲グル事項ヲ變更スル場合ト雖認可ヲ得スシテ其ノ工事ニ著手スルコトヲ得

第二十二條ノ二 左ノ場合ニ於テハ工事方法ヲ具シ所轄通信局長ニ認可ヲ申請スヘシ其ノ工作物方第十八條第一項ニ掲グル事項ニ變更ヲ及ボス場合ト雖亦同シ

一 前條ノ場合ニ於テ電力ノ不足ヲ補給スル爲三箇月以内ヲ限リ他ヨリ電氣ノ供給ヲ受ケムトスルトキ

二 自家用電氣工作物施設規則第七條ノ二、官廳施設電氣事業規則第七條ノ二及前條ノ場合ニ於テ他ヨリ受電セムトスル者ニ供給區域外

ノ地點ニ於テ供給セムトスルトキ

第二十一條 電氣事業者第十二條ノ規定ニ依リ認可ヲ得若ハ届出ヲ爲シタル工事又ハ第十八條第一項、第十九條第一項及前條ノ規定ニ依リ認可ヲ得タル工事ニ著手シタルトキハ遲滞ナク其ノ認可ヲ得又ハ届出ヲ爲シタル官廳ニ届出ツヘシ

第二十條ノ場合ニ於ケル工事ニ著手シタルトキハ第十二條第一項ノ區別ニ依リ通信大臣又ハ通信局長ニ届出ツヘシ但シ第二十條第二項ノ場合ニ於テハ同時ニ第十八條第一項ノ規定ニ依リ認可ヲ申請ヲ爲スヘシ

前二項ノ規定ニ依リ通信大臣ニ届出ヲ爲ス場合ハ同時ニ其ノ副本ヲ所轄通信局長ニ提出スヘシ

第二十二條 (削除)

第三章 土地立入、植物ノ伐除移植、土地使用、地中電氣工作物位置變更、電氣ノ流用並裁定

第二十三條 通氣事業法第七條第一項及第八條ニ規定シタル行政官廳ノ職權ハ府縣支廳及北海道支廳ノ管轄區域ニ在リテハ支廳長其ノ他ノ地ニ在リテハ地方長官之ヲ行フ

市町村長ノ職務ハ市制又ハ町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ市町村長ニ準スヘキ吏員之ヲ行フ

第二十四條 電氣事業法第七條第一項ニ依リ電氣工作物ノ施設ニ關シ測量又ハ工事ノ爲土地立入ノ許可ヲ受ケムトスル電氣事業者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ提出スヘシ

一 立入ノ目的

二 電氣事業及電氣工作物ノ種類

三 立入ルヘキ土地ノ區域

四 立入ルヘキ豫定時期及期間

許可ヲ得タル電氣事業者ハ左ノ事項ヲ市町村長ニ書面ヲ以テ通知スヘシ

一 前項各號ノ事項

二 許可ヲ與ヘタル行政官廳名及許可ノ年月日

第二十五條 電氣事業法第七條第一項ニ依リ市町村長ノ告示ハ左ノ事項ヲ具備スルコトヲ要ス

一 電氣事業者名

二 前條第一項各號ノ事項

三 許可ヲ與ヘタル行政官廳名並許可年月日

告示ハ市町村役場ノ揭示場ニ揭示シ又ハ其ノ地ニ於テ發行スル新聞紙ヲ以テ公告スヘシ

土地ノ占有者ニ通知スル場合ニハ第一項ノ規定ヲ準用ス其ノ通知ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第二十六條 電氣事業法第八條第一項ニ依リ竹木其ノ他ノ植物ヲ伐除又ハ移植スルカ爲許可ヲ受ケムトスル電氣事業者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ提出スヘシ

一 電氣事業ノ種類

二 關係電線路ノ種類及電壓

三 障害ノ原因及程度、障害除却ノ方法及其ノ範圍並其ノ實行ノ時期

四 植物ノ存在地及其ノ所有者ノ氏名並住所

五 損失補償ノ見積金額及内譯

六 所有者ト協議調ハス又ハ協議ヲ爲スコト能ハサル事由

前項ノ申請書ニハ植物ノ存在地及附近ノ概況等ヲ記載シタル圖面ヲ添附スヘシ

電氣事業者ヨリ所有者ニ對スル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

一 第一項第三號及第五號ノ事項

二 許可ヲ與ヘタル行政官廳名及其ノ許可年月日

第二十七條 電氣事業法第八條第二項ニ依リ提出スル竹木其ノ他ノ植物ニ伐除又ハ移植ニ關スル屆書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 前項第一項第一號乃至第五號ノ事項

二 危險急迫ノ事實

電氣事業者ヨリ所有者ニ對スル通知ニハ前項ノ規定ヲ準用ス

第二十八條 電氣事業法第七條、第八條又ハ第十條ニ依リ土地又ハ建造物ニ立入り又ハ竹木其ノ他ノ植物ヲ伐除若ハ移植セムトスル者ハ電氣事業者タル證票ヲ携帶スヘシ但シ行政官廳ノ許可ヲ受ケヘキモノナルトキハ其ノ許可書ノ謄本ヲモ携帶スヘシ

前項ニ依リ携帶スル證票ハ土地若ハ建造物又ハ植物ノ管理者ニ對シ之ヲ呈示スヘシ其ノ管理者ヨリ許可書謄本ノ呈示ヲ請求セラレタルトキ亦同シ

電氣事業者ハ第一項ニ依リ携帶スヘキ證票ノ見本ヲ作業ノ日ヨリ少クトモ二日前ニ作業地所轄警察官署ニ届出ツヘシ

第二十九條 電氣事業法第十條第二項ニ依リ土地使用ニ關スル許可ヲ受ケムトスル電氣事業者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ提出スヘシ

一 電氣事業ノ種類、電線路ノ構造大要及電壓

二 電線路施設ノ爲當該地點ノ選定ヲ必要トスル事由

位置變更ニ關シ許可ヲ受ケムトスル電氣事業者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ電氣工作物施設地ヲ管轄スル通信局長ヲ經由シテ通信大臣ニ提出スヘシ

一 變更ヲ必要トスル事由

二 現存工作物ノ施設場所、種類及構造並所屬電氣事業者名

三 施設セムトスル工作物ノ施設場所、種類及構造

四 工作物相互ノ位置並其ノ附近ニ於ケル他ノ地中工作物トノ關係狀態

五 現存工作物ノ變更方法

六 變更工事ノ著手及落成期限

七 變更工事費見積金額及内譯

前項ノ申請書ニハ圖面ヲ添附スヘシ

電氣事業者前項ノ許可ヲ得タルトキハ許可書ノ謄本ヲ添へ第一項各號ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ相手方ニ通知スヘシ

第三十六條 電氣事業法第十四條ノ二ニ依リ電氣ノ流用ヲ命セラレタル者ハ指定ノ期間内ニ工事費負擔方法、電氣供給料金其ノ他第一條第二項第二號ニ準スル事項ヲ記載シタル契約書ノ謄本ヲ添付シ第六條ニ依リ起業日論見書又ハ工事設計書中ノ事項變更ニ關スル申請ヲ爲スヘシ但シ起業日論見書又ハ工事設計書中ノ事項ニ變更ヲ生セサルモノニ在リテハ該契約書ノ謄本ヲ添付シ其ノ工事方法ヲ通信大臣ニ届出ツヘシ

流用ノ命令ヲ受ケタル者協議調ハサル場合ニ於テハ指定ノ期間内ニ第三十七條ニ依リ裁定ノ申請ヲ爲スヘシ

第三十七條 電氣事業法第十六條ニ依リ裁定ヲ受ムトスル者ハ左ノ事項

一 申請人及相手方ノ氏名又ニ商號及住所

二 裁定事件ノ表示

三 申請ノ目的及理由

前項ノ申請書ヲ受理シタル行政官廳ハ其ノ副本ヲ相手方ニ送付シ一定ノ期間内ニ答辯書ヲ差出サシムヘシ必要ト認ムルトキハ申請人又ハ相手方ヨリ更ニ辯駁書、答辯書ヲ提出シ命スルコトアルヘシ

指定ノ期限内ニ答辯書ヲ差出ササルトキハ行政官廳ハ申請書ノミニ依リテ裁定スルコトヲ得副本ノ交付ヲ爲スコト能ハサルトキ亦同シ

第三十五條 裁定ヲ爲シタル行政官廳ハ理由ヲ付シタル書面ヲ以テ當事者雙方ニ之ヲ通知スヘシ

第三十六條 電氣事業法第十三條ニ依リ他人ニ屬スル地中電氣工作物ノ

第五編 通信、交通、電氣 第三章 電氣、瓦斯

一四八

一四九

予記載シタル正副二通ノ申請書ヲ作成シ電氣工作物施設地ヲ管轄スル
通信局長ヲ經由シテ通信大臣ニ提出スヘシ

- 一 申請人ノ商號又ハ氏名及住所
- 二 裁定事件ノ表示
- 三 申請ノ目的及理由
- 四 協議調ハサル願末

裁定ニ關シテハ第三十四條ノ規定ヲ準用ス

第四章 主任技術者

第三十八條 電氣事業者ハ工事者手前ニ主任技術者ヲ選任シ技術ニ關ス
ル事項ヲ擔任セシムヘシ
主任技術者ノ缺位ヲ生シタルトキハ電氣事業者ハ遲滞ナク其ノ後任者
ヲ選任スヘシ

第三十九條 主任技術者ハ左ノ區別ニ從ヒ電氣事業主任技術者資格檢定
規則ニ依ル相當ノ資格ヲ有スル者及電氣技術ノ經驗ヲ有スル者ナルコ
トヲ要ス

電氣事業ノ種類

電氣供給事業及電氣鐵道
事業

三萬五千「ヴォルト」以下
ノ電氣供給事業及電氣鐵
道事業

一萬五千「ヴォルト」以下
ノ電氣供給事業及電氣鐵
道事業

低壓又ハ 歴ノ電氣供給
事業

電氣事業主任技術者

第一種ノ資格ヲ有スル者

第二種ノ資格ヲ得タル後二年以上電
氣技術ノ經驗ヲ有スル者又ハ從前ノ
規定ニ依リ第二級ノ資格ヲ有スル者

第三種ノ資格ヲ有スル者

第三種ノ資格ヲ得タル後二年以上電
氣技術ノ經驗ヲ有スル者又ハ從前ノ
規定ニ依リ第四級ノ資格ヲ有スル者

低壓又ハ百「キロワット」
以上ノ高壓電氣供給事業

第三種ノ資格ヲ有スル者

二十「キロワット」以下ノ
低壓又ハ高壓電氣供給事
業

電氣技術ニ關シ相當ノ學術經驗ヲ有
スト認定セラレタル者又ハ從前ノ規
定ニ依リ第六級ノ資格ヲ有スル者

前項ノ主任技術者ハ特殊ノ事由アル場合ニ限り通信大臣ノ認可ヲ得テ
二箇以上ノ電氣事業ニ兼務スルコトヲ得

前項ノ認可申請書ハ所轄通信局長ヲ經由スヘシ

第四十條 電氣事業者主任技術者ヲ選任シタルトキハ履歷書ヲ添ヘ通信
大臣ニ届出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

主任技術者ニ缺位ヲ生シタルトキハ其ノ旨通信大臣ニ届出ツヘシ
本條ノ履歷書ハ所轄通信局長ヲ經由スヘシ

第四十一條 通信大臣ハ主任技術者カ其ノ職務ヲ怠リ又ハ其ノ職務ヲ行
フニ不適當ナル行爲アリト認ムルトキハ其ノ解任ヲ命スルコトアルヘ
シ

第四十二條 主任技術者疾病、旅行其ノ他ノ事由ニ因リ一月以上ニ互リ
其ノ職務ヲ執ルコト能ハサルトキハ電氣事業者ハ其ノ代表者ヲ選任シ

履歷書ヲ添ヘ其ノ旨所轄通信局長ニ届出ツヘシ

第四十三條 本令ニ依リ官廳ニ提出スル書類圖面中技術ニ關スルモノハ
主任技術者又ハ其ノ代表者之署名捺印スヘシ但シ第三十八條ニ依ル
主任技術者ノ選任前ニ在リテハ其ノ設計ヲ擔當シタル技術者之署名
捺印スヘシ

第五章 検査

第四十四條 電氣事業者第十二條、第十八條第一項、第十九條第一項ノ

規定又ハ電氣工作物規程ニ依リ認可ヲ得又ハ第十二條ノ規定ニ依リ届
出ヲ爲シタル工事落成シタルトキハ遅滞ナク其ノ認可ヲ得又ハ届出ヲ
爲シタル官廳ニ届出ツヘシ

第二十條第一項及第二十條ノ二ノ場合ニ於ケル工事落成シタルトキハ
所轄通信局長ニ、第二十條第二項ノ場合ニ於ケル工事落成シタルトキ
ハ第十八條第一項ノ區別ニ依リ通信大臣又ハ通信局長ニ届出ツヘシ

前二項ノ規定ニ依リ届出ハ電報、電話又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ
得

第一項及第二項ノ規定ニ依リ通信大臣ニ届出ツヘキ場合ニ於テハ同時
ニ所轄通信局長ニ其ノ副本ヲ提出シ又ハ電話若ハ口頭ヲ以テ其ノ旨通
知スヘシ

第四十五條 電氣事業者ハ火災其ノ他爆發性ノ物質ヲ製造又ハ設置スル
場所ニ電氣工作物ヲ施設シタルトキハ遅滞ナク工事方法ヲ具シ工作物
施設地ヲ管轄スル通信局長ニ届出ツヘシ

第四十六條 第四十四條第一項、第二項又ハ前條ニ依リ届出アリタルト
キハ當該官廳ハ検査吏員ヲ派遣シ其ノ落成シタル電氣工作物ヲ検査セ
シメタル上使用認可證ヲ交付ス但シ特ニ検査ノ必要ナシト認ムルトキ
ハ直ニ使用認可證ヲ交付スルコトアルヘシ

電氣工作物規程ニ依リ認可ヲ得タル工事ニ在リテハ前項ノ規定ヲ適用
セス

検査ノ結果改修ヲ命シタル場合ニ於テ其ノ改修工事落成シタルトキハ
前二條ニ準シ届出ツヘシ

第四十七條 検査吏員ニ於テ危険ナシト認メタルトキハ直ニ假使用許可
證ヲ交付スルコトアルヘシ

假使用許可證ノ有效期間ハ六十日トス

第四十八條 第二十條ノ復舊工事落成シタルトキハ第十八條ニ掲タル事
項ニ變更ヲ生セサル場合ニ限り使用許可證ヲ受ケスシテ其ノ落成電氣
工作物ヲ使用スルコトヲ得

第四十九條 第十二條ノ規定ニ依リ許可ヲ得又ハ届出ヲ爲シタル工事落
成シタルトキハ電氣事業者ハ電氣工作物竣工明細書 別記第五ヲ調製シ

該工作物検査ノ爲派遣セラレタル検査吏員ヲ經由シテ其ノ許可ヲ得又
ハ届出ヲ爲シタル官廳ニ届出ツヘシ但シ検査ヲ受ケスシテ使用認可證
ヲ交付セラレタルトキハ直ニ當該官廳ニ届出ツヘシ

増設又ハ變更工事ノ落成ニ因リ電氣工作物竣工明細書中ノ事項ニ變更
ヲ生シタルトキ亦同シ但シ其ノ落成電氣工作物力使用許可證ヲ受ケス
シテ使用シ得ルモノナルトキハ直ニ當初届出ヲ爲シタル官廳ニ届出ツ
ヘシ

前二項ノ規定ニ依リ通信大臣ニ届出ヲ爲ス場合ハ同時ニ其ノ副本ヲ所
轄通信局長ニ提出スヘシ

第四十九條ノ二 通信大臣ハ左ノ場合ニ於テ検査吏員ヲ派遣シ電氣工作
物ヲ臨時検査セシム

一 天災事變其ノ他ノ事故ニ因リ電氣工作物ニ著シキ障害アリト認め
タルトキ

二 電氣工作物力他ノ工作物ニ著シキ障害ヲ及ボシタリト認メタルト
キ

三 電氣工作物ノ變更ニ因ラスシテ發電所出力増加ノ認可申請アリタ
ルトキ

第六節 業務

第五十條 電氣供給事業者ハ需用者ニ對シ正當ノ理由ナクシテ電氣ノ供給ヲ拒絕スルコトヲ得ス

第五十一條 電氣事業者ハ供給點ニ於テ保持スヘキ一定電壓又ハ一定電流ヲシテ百分ノ四以上ノ變動ヲ起サシメサルコトヲ要ス且電燈供給ノ場合ニ在リテハ技術上已ムテ得サルモノヲ除クノ外電力ニ不定ヲ生セシメサルコトヲ要ス但シ特殊ノ事由アル場合ニ於テ通信大臣ノ認可ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラス

第五十二條 電燈ノ電力ヲ表示スルニハ燭光ヲ以テ單位トス

一燭光ハ電壓七百六十「ミリメートル」ノ時一立方「メートル」ニ付八「リットル」ノ水蒸氣ヲ含有スル空氣中ニ於テ燃焼スル「ハーコート」氏十燭光「ペンテーン」燈ノ光力ノ十分ノ一トス

第五十三條 電燈供給ニ使用スル白熱電球ニハ電壓及大サノ「ワット」數又ハ電壓及燭光「真空」タンクステン「電球」ニ在リテハ平均水平、光、瓦斯燭光「タンクステン」電球ニアリテハ平均燭光ヲ指示スヘシ

前項ノ大サ及燭光ニ關スル指示數ノ誤差ハ左記ノ値ヲ超過セサルコトヲ要ス

電球ノ種類	電球ノ大サ	全電力消費量	平均燭光	平均水平燭光
真空「タンクス」電球	七・五ワット 乃至一〇ワット	百分ノ十	〇・八燭光	
	一・二・五ワット以上	百分ノ七・七		百分ノ十

第六十一條 電氣事業者ハ送電中出火、暴風其ノ他非常ノ場合ニ際シ危險ナリト認ムル區域内ノ架空電線ニ對シ速ニ其ノ送電ヲ遮斷スヘシ

前項ニ依リ送電ヲ中止シタル區域内電路ノ各要所ニ晝間ハ標旗夜間ハ標燈ヲ掲グヘシ

第六十二條 電氣事業者ハ送電中ノ架空電線ノ近傍ニ出火アルトキハ直ニ現場ニ技術員ヲ派遣シ危險豫防ノ手續ヲ施シ其ノ旨出張ノ警察官ニ届出シムヘシ其ノ技術員ハ警察官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ退場スルコトヲ得ス

出火ノ場所ニ派遣ノ技術員ニハ晝間ハ標旗夜間ハ標燈ヲ携帯セシムヘシ

第六十三條 前二條ニ依リ使用スヘキ標旗及標燈ノ様式ハ別ニ之ヲ告示ス

第六十四條 電氣事業者ハ每事業決算期ニ於テ別ニ定ムル所ニ依リ電氣事業報告書ヲ作成シ決算期時一月内ニ通信大臣ニ届出ツヘシ但シ決算期ノ定メナキモノハ一年毎ニ届出ツヘシ

第六十五條 電氣事業者ハ別ニ定ムル所ニ依リ電氣工作物ノ故障及其ノ運轉使用ニ關スル事故ノ届出ヲ爲スヘシ

第六十六條 左ノ場合ニ於テハ電氣事業者ハ遅滞ナク通信大臣ニ届出テ同時ニ其ノ副本ヲ所轄地方長官及通信局長ニ提出スヘシ

- 一 會社成立シタルトキ
- 二 株金ノ拂込アリタルトキ
- 三 會社ノ取締役ハ其ノ旨附記スヘシ 監査役ヲ選任若ハ改任シタルトキ、總社員ノ同意ヲ以テ代表社員ヲ定メタルトキ又ハ之ヲ變更シタルトキ

瓦斯燭光「タンクス」電球	一〇〇ワット以上	百分ノ十	百分ノ二
	一〇〇ワット以下	百分ノ十	百分ノ十

第五十四條 電氣事業者カ白熱電球ヲ提供シテ電燈ヲ供給スル場合ニ於テ其ノ光力取附後ノ使用ニ依リ指示電壓ニ於テ真空「タンクス」電球ニ在リテハ指示燭光數ノ百分ノ八十以下ニ瓦斯燭光「タンクス」電球ニ在リテハ指示燭光數ノ百分ノ七十五以下ニ減少シ且需用者ノ請求アルトキハ電氣事業者ハ新ナル電氣ト取換ヲ爲スヘシ

第五十五條 電氣供給事業者ハ別ニ定ムル所ニ依リ電氣供給規程ノ届出ヲ爲スヘシ

第五十六條 電路ハ常ニ之ヲ檢査シ安全ト認ムルニ非サレハ之ニ送電スルコトヲ得ス

第五十七條 發電所、變電所、蓄電所、受電地點及開閉所ニハ相當ノ技術者ヲ置キ送電中ハ常ニ監視セシムヘシ

第五十八條 電氣供給事業者ハ地方長官ノ許可ヲ受クルニ非サレハ本部又ハ一部ノ事業ヲ休止スルコトヲ得ス

第五十九條 修繕其ノ他ノ原因ニ因リ送電ヲ中止スルトキハ急遽ノ場合ヲ除クノ外其ノ旨ヲ關係需用者ニ豫告スヘシ

第六十條 地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ニ於テ保安上必要アリト認ムルトキハ電氣事業者ニ對シ電線路ノ要所ニ技術員ノ散宿所ヲ設置セシメ其ノ在勤ヲ命スルコトアルヘシ

前項ノ散宿所ニハ公衆ノ賭博キ所ニ其ノ標札ヲ掲グヘシ

第六十條 電氣事業者ハ保險係員ヲシテ常時電線路ヲ巡視セシムヘシ

營業所又ハ事務所ヲ設置シ若ハ變更シタルトキ

電氣事業又ハ兼營事業ヲ開始、休止、廢止シ若ハ兼營事業ヲ讓渡シタルトキ

第六十七條 電氣事業者カ公債若ハ社債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲シタルトキハ其ノ事由、公債、社債又ハ借入金ノ金額及利率、償還期限其ノ他發行又ハ借入ノ條件ヲ具シ遲滞ナク通信大臣ニ届出ツヘシ此ノ場合ニ於テ工場抵當法ニ依リ電氣供給事業ニ屬スルモノヲ以テ工場財團ヲ設定シタルトキハ其ノ財團ノ目錄ヲ添附スヘシ

公債、社債又ハ借入金ヲ償還シタルトキハ其ノ都府通信大臣ニ届出ツヘシ

前二項ノ規定ニ依リ届出ヲ爲ス場合ハ同時ニ其ノ副本ヲ所轄地方長官ニ提出スヘシ

第七節 監査

第六十八條 通信大臣ハ吏員ヲ派遣シ電氣工作物若ハ其ノ工事中ノ狀況又ハ事業經營ノ實況ヲ監査セシムルコトアルヘシ

通信大臣ハ必要ト認ムルトキハ電氣事業者ニ命シ現ニ使用シ若ハ使用セムトスル機械器具其ノ他物品ノ見本ヲ差出サシメ其ノ試験ヲ爲スコトアルヘシ

見本ノ運搬ニ要スル費用並試驗ニ因テ生スル損害ハ電氣事業者ノ負擔トス

第六十九條 通信大臣ハ既設若ハ工事中ノ電氣工作物方他ニ障害ヲ及ホシ若ハ危險ナリト認ムルトキハ改修、撤去若ハ使用ノ停止ヲ命スルコトアルヘシ

第七十條 通信大臣ハ公益上必要ト認ムルトキハ電氣事業者ニ對シ事業

經營上必要ナル設備ノ變更又ハ増設ヲ命スルコトアルヘシ
第七十條ノ二 地方長官(東京府ニ在リ)ハ公益上必要ト認ムルトキハ電

氣事業ノ實況ヲ監査シ且危險急迫ノ場合ニ在リテハ電氣事業者ニ對シ
保安上必要ナル措置ヲ命スルコトアルヘシ

第七十一條 電氣供給事業者カ供給區域内ノ一部分ニ於ケル事業ヲ開始
シタル後久シキニ互リ其ノ殘餘部分ニ對シ正當ノ理由ナクシテ電線路
其ノ他供給上必要ナル設備ヲ爲ササルトキハ通信大臣ハ許可ノ一部ヲ
取消スコトアルヘシ

第七十二條 道路又ハ他人ノ土地ニ施設シタル電線路ニシテ其ノ使用ヲ
廢止シタルモノハ電氣事業者之ヲ撤去スヘシ

需用場所ニ施設シタル電氣工作物ニシテ電氣事業者ニ屬スルモノハ需
用者ヨリ撤去ノ請求アリタルトキ亦前項ニ同シ

電氣事業者電氣工作物ヲ施設シタル後久シキニ互リ之カ使用ヲ爲ササ
ルトキハ通信大臣ハ其ノ撤去ヲ命スルコトアルヘシ

第八章 罰則

第七十三條 本令ニ基キテ爲シタル處分ニ違反シ又ハ故ナク檢査若ハ監
査ヲ拒ミ又ハ之ヲ妨ケタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第七十四條 本令ノ規定ニ依リ届出又ハ通知ヲ怠リタル者ハ科料ニ處ス

第七十五條 第二十八條ノ規定ニ依リ證書及許可書ノ謄本ヲ携帶セス又
ハ證書ヲ呈示セスシテ土地又ハ建造物ニ立入り又ハ植物ヲ伐除若ハ移
植シタル者ハ科料ニ處ス

管理者ヨリ請求ヲ受ケタルニ拘ラス許可書ノ謄本ヲ呈示セサル者亦同
シ

附則

第七十六條 本令ハ電氣事業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
電氣事業取締規則ハ之ヲ廢止ス

第七十七條 本令ニ依リ通信局長ヲ經由スヘキ書類圖面ニシテ訂正ニ係
ルモノハ通信大臣ニ於テ指示シタル場合ニ限り直接ニ之ヲ提出スルコ
トヲ得

前項ノ場合ニ於テハ其ノ訂正ニ係ル書類圖面ノ副本ヲ當該通信局長ニ
提出スヘシ

第七十八條 電氣事業法施行ノ際現ニ電氣事業者ヲ營ム者又ハ同法施行時
ニ於テ電氣事業經營ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シ本令施行前ニ於テ爲シ
タル處分ハ本令ノ規定ニ抵觸スルモノヲ除クノ外本令施行後ト雖猶其
ノ效力ヲ有ス

第七十九條 本令施行前ニ於テ電氣事業取締規則ニ依リ提出シタル許可
又ハ認可ノ申請ニシテ本令施行ノ際マテニ處分ヲ受ケサルモノハ本令
施行後ニ於テハ本令ニ依リ提出シタルモノト看做ス但シ本令ノ規定ニ
依リ提出ヲ要スル書類圖面ハ更ニ之ヲ補充セシムルコトアルヘシ

第八十條 本令施行前ニ於テ許可ヲ得タル電氣鐵道事業者ハ軌道條例ニ
依ルモノヲ除クノ外第三條ノ起業目論見書第四條ノ工事設計書第四號
項ヲ除ク第十五條ノ工事設計詳細書第十六條ノ實測圖及第一條第二項
中ノ關係書類ヲ調製シ本令施行ノ日ヨリ六月内ニ之ヲ通信大臣ニ提出
スヘシ

附則 (大正十四年五月通信省令第三〇號)

第八十一條 從前ノ規定ニ依リ通信大臣ニ届出テ又ハ其ノ認可ヲ得タル
事項ニシテ本令ニ依リ通信局長ノ所管ニ移リタルモノニ關スル届出ハ
之ヲ所轄通信局長ニ提出スヘシ

第二節 瓦斯

瓦斯事業法 (大正十二年四月九日 法律第四十六號)

第一條 本法ニ於テ瓦斯事業ト稱スルハ一般ノ需用ニ應ジ導管ニ依リテ
瓦斯ヲ供給スル事業ヲ謂フ

第二條 本法ニ於テ瓦斯工作物ト稱スルハ瓦斯發生裝置、瓦斯精製裝置、
瓦斯溜、導管其ノ他瓦斯供給ノ爲施設スル工作物ニシテ瓦斯事業ノ用
ニ供スルモノヲ謂フ

第三條 瓦斯事業ヲ營ムトスル者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ
許可ヲ受ケヘシ

第四條 瓦斯事業者ハ主務大臣ノ指定スル期間内ニ工事施行ノ許可ヲ申
請シ且其ノ事業ヲ開始スヘシ
主務大臣ハ正當ノ事由アリト認ムル場合ニ限り前項ノ期間ノ延長ヲ許
可スルコトヲ得

瓦斯事業者前二項ノ期間内ニ工事施行ノ許可ヲ申請セス又ハ事業ヲ開
始セサルトキハ前條ノ許可ハ其ノ效力ヲ失フ

第五條 瓦斯事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ受ケタルニ
非サレハ工事ヲ施行シ又ハ瓦斯工作物ヲ使用スルコトヲ得ス

第六條 瓦斯事業者ハ河川、溝渠、道路、橋梁、堤防其ノ他公共ノ用ニ供セ
ラルル土地ニ導管ヲ施設スル必要アルトキハ其ノ效用ヲ妨ケサル限度
ニ於テ其ノ管理者ノ許可ヲ受ケテ之ヲ使用スルコトヲ得
前項ノ管理者正當ノ事由ナクシテ前項ノ許可ヲ拒ミタルトキハ主務大

第五編 通信、交通、電氣 第三章 電氣、瓦斯

臣ハ瓦斯事業者ノ申請ニ依リ前項ニ規定スル使用ヲ許可スルコトヲ得
前二項ノ場合ニ於テハ瓦斯事業者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ使用料ヲ納
ムヘシ

前三項ノ規定ハ道路法ニ依ル道路及其ノ附屬物並道路法第七條ノ規定
ニ依リ同法ノ規定ヲ準用スル道路及其ノ附屬物ト爲ルヘキモノニ關シ
テ之ヲ適用セス

第七條 瓦斯事業者ハ必要アルトキハ導管ノ施設ニ關スル調査、測量若
ハ工事ノ爲他人ノ土地ニ立入り又ハ現在ノ使用方法ヲ妨ケサル限度ニ
於テ他人ノ土地ニ導管ヲ施設スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ瓦斯事業者他人ノ土地ニ立入り又ハ導管ヲ施設セム
トスル場合ニ於テ其ノ所有者及占有者ト協議調ハス又ハ協議ヲ爲スコ
ト能ハサルトキハ其ノ使用ノ範圍ヲ定メ豫メ行政官廳ノ許可ヲ受ケヘ
シ

瓦斯事業者前項ノ許可ヲ受ケタル後他人ノ土地ニ立入り又ハ導管ヲ施
設セムトスルトキハ少クトモ五日日前ニ其ノ旨土地ノ所有者及占有者ニ
通知スヘシ

第八條 前條ノ規定ニ依リ他人ノ土地ニ導管ヲ施設シタル場合ニ於テ其
ノ土地ノ所有者又ハ占有者ハ其ノ土地ノ使用方法ヲ變更スル爲必要ア
ルトトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ瓦斯事業者ニ對シ導管ノ位置ノ變更其
ノ他土地ノ使用ニ對スル障害ノ豫防又ハ除却ニ必要ナル施設ヲ爲スコ
トヲ請求スルコトヲ得

前項ノ施設ニ要スル費用ハ瓦斯事業者ノ負擔トス但シ瓦斯事業者前項
ノ施設ヲ爲シタル後前項ノ規定ニ依リ請求ヲ爲シタル土地ノ所有者又
ハ占有者カ正當ノ事由ナクシテ其ノ土地ノ使用方法ノ豫定ノ變更ヲ爲

ササルトキハ其ノ者ノ負擔トス

第九條 瓦斯事業者ハ瓦斯工作物ノ修理又ハ検査ノ爲必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工作物ヲ施設シタル他人ノ土地又ハ建造物ニ立入ルコトヲ得但シ日没ヨリ日出迄ノ間ニ於テハ占有者ノ意ニ反シテ邸宅又ハ建造物ニ立入ルコトヲ得ス

第十條 第七條及前條ノ場合ニ於テ現ニ生シタル損失ハ瓦斯事業者之ヲ補償スヘシ

前項ノ規定ニ依ル補償金額ニ付協議調ハス又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ行政官廳之ヲ裁定ス其ノ裁定ニ不服アル者ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三月以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

行政官廳ハ必要アリト認ムルトキハ瓦斯事業者ヲシテ損失ノ補償ニ充ツヘキ金額ヲ供託セシムルコトヲ得

第十一條 瓦斯工作物相互間及瓦斯工作物ト其ノ他ノ工作物トノ間ニ於ケル障害ヲ防止スル爲必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

前項ノ規定ニ依リ爲ス工事ニ關スル費用ノ負擔其ノ他ノ事項ハ命令ヲ以テ定ムルモノノ外當事者ノ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハス又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ主務大臣之ヲ裁定ス

第十二條 瓦斯料金其ノ他命令ヲ以テ定ムル瓦斯供給條件ノ設定又ハ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケヘシ

前項ノ場合ニ於テ主務大臣ハ關係市町村ノ意見ヲ徵スヘシ
主務大臣ハ公益上必要アリト認ムルトキハ瓦斯料金其ノ他瓦斯供給條件ニ關シ必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

市町村ト瓦斯事業者トノ間ニ存スル事業經營ニ關スル定ニ基キ瓦斯事業者カ市町村ノ承認ヲ求メタル場合ニ於テ協議調ハサルトキハ主務大臣

臣之ヲ裁定ス

第十三條 瓦斯ノ成分、壓力、光力及熱量並瓦斯工作物ニ關スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 瓦斯事業者ハ正當ノ事由アルニ非サレハ瓦斯ノ供給ヲ拒ムコトヲ得ス

第十五條 瓦斯事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ其ノ事業ノ全部又ハ一部ヲ廢止シ又ハ休止スルコトヲ得ス

第十六條 瓦斯事業ノ讓渡ハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受ケヘシ瓦斯事業ヲ營ム會社ノ合併又ハ解散亦同シ

第十七條 市町村カ瓦斯事業者ヲ營ムトスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ管轄區域内ノ瓦斯事業ヲ買収スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル買収ノ價格其ノ他買収ノ條件ニ關シ協議調ハス又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ主務大臣之ヲ裁定ス

第十八條 行政官廳ハ瓦斯事業者ニ對シ業務及財産ノ狀況ニ關シ検査ヲ爲シ、報告ヲ爲サシメ其ノ他監督上必要ナル事項ヲ命スルコトヲ得

第十九條 第一條ニ掲ケタルモノヲ除クノ外瓦斯ヲ供給シ又ハ使用スル事業ニ關シテハ第六條乃至第十條及第十七條ノ規定ヲ除クノ外命令ノ定ムル所ニ依リ本法ノ全部又ハ一部ヲ準スルコトヲ得

第二十條 瓦斯事業者本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シ、行政官廳ノ命シタル事項ヲ執行セス又ハ公益ヲ害スヘキ行爲ヲ爲シタルトキハ主務大臣ハ第三條ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第二十一條 本法中主務大臣ノ職權ハ命令ヲ以テ之ヲ地方長官（東京府

ニ在リテハ警視總監）ニ委任スルコトヲ得

第二十二條 瓦斯工作物ノ損害其ノ他ノ方法ヲ以テ瓦斯ノ供給ヲ妨害シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二十三條 瓦斯事業者ノ承諾ヲ得シテ並ニ瓦斯工作物ノ施設ヲ變更シタル者ハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第二十四條 本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ許可又ハ認可ヲ受ケヘキ事項ヲ許可又ハ認可ヲ受ケシテ爲シタル者又ハ第十二條ノ命令若ハ處分ニ違反シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十五條 瓦斯事業者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第十四條ノ規定ニ違反シタルトキ
二 正當ノ事由ナクシテ第十八條ノ規定ニ依ル検査ヲ拒ミ、妨ケ若ハ忌避シ又ハ報告ヲ爲サス若ハ虚偽ノ報告ヲ爲シ其ノ他行政官廳ノ命シタル事項ヲ爲ササルトキ

第二十六條 瓦斯事業者ハ其ノ代理人、戸主、家族、雇人其ノ他ノ從業者カ其ノ義務ニ關シ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第二十七條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ瓦斯事業者ニ適用スヘキ罰則ハ瓦斯事業者法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ未成者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年

者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

附則

本法施行ノ期日ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十四年九月勅令第二八九號ヲ以テ同年十月一日ヨリ施行）

本法ニ依リ許可又ハ認可ヲ受ケヘキ事項ニシテ本法施行ノ際現ニ存スルモノハ之ヲ本法ニ依リ許可又ハ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

第十七條ノ規定ハ本法施行ノ際市町村ト瓦斯事業者トノ間ニ瓦斯事業ノ買収ニ關シ期間ノ定アルトキハ其ノ期間之ヲ適用セス

瓦斯事業法施行令（大正十四年九月二十八日勅令第二百九十號）

第一條 瓦斯事業法第六條第二項ノ主務大臣ハ内務大臣及商工大臣トス

第二條 瓦斯事業法第六條第三項ノ規定ニ依リ瓦斯事業者ノ納付スヘキ使用料ハ同條第一項ノ管理者之ヲ定ム

前項ノ管理者不相當ナル使用料ヲ定メタルトキハ内務大臣及商工大臣ハ瓦斯事業者ノ申請ニ依リ之ヲ變更スルコトヲ得

第三條 瓦斯事業法第十七條第一項ノ規定ニ依ル瓦斯事業ノ買収ノ認可又ハ同條第二項ノ規定ニ依ル裁定ハ内務大臣及商工大臣ニ之ヲ申請スヘシ

市町村カ前項ノ買収ヲ爲ス場合ニ於テハ瓦斯事業者ハ當該市町村ノ管轄區域外ニ互ル瓦斯事業ニシテ引置キ經營スルコト能ハサルモノ又ハ瓦斯事業ニ附帶スル設備ヲ併セ買収スヘキコトヲ當該市町村ニ對シ請求スルコトヲ得

第四條 左ニ掲ケル場合ニ於テハ商工大臣ハ内務大臣ニ協議スヘシ

- 一 瓦斯事業法第三條、第十六條又ハ第二十條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲サムトスルトキ
- 二 命令ノ定ムル所ニ依リ供給區域ノ變更ノ許可ヲ爲サムトスルトキ
- 三 市町村ト瓦斯事業者トノ間ニ存スル事業經營ニ關スル定ニ關係アル事項ニ付瓦斯事業法第十二條ノ規定ニ依ル命令ヲ發シ又ハ認可、裁定其ノ他ノ處分ヲ爲サムトスルトキ
- 四 市町村ノ經營スル瓦斯事業ニ付瓦斯事業法第十二條ノ規定ニ依ル命令ヲ發シ又ハ認可其ノ他ノ處分ヲ爲サムトスルトキ
- 五 災害ノ豫防又ハ除却ノ爲瓦斯工作物ニ關シ瓦斯事業法第十三條ノ規定ニ基キ命令ヲ發シ又ハ之ニ基キ處分ヲ爲サムトスルトキ
- 六 命令ノ定ムル所ニ依リ瓦斯事業法第十五條ノ規定ニ依ル廢止又ハ休止ノ許可ヲ爲サムトスルトキ

附則

本令ハ瓦斯事業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 瓦斯事業者カ瓦斯事業法施行ノ際現ニ河川、溝渠、道路、橋梁、堤防其ノ他公共ノ用ニ供セラルル土地ノ使用ニ關シ其ノ管理者ニ納付スル金銭ハ第二條ノ規定ニ依ル使用料ト看做ス

瓦斯事業法施行規則

(大正十四年十月一日 內務商工省令)

- 第一條 瓦斯事業經營ノ許可申請者ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ
 - 一 起業目論見書
 - 二 工事設計書

- 三 工事費概算書(第一號様式)(瓦斯事業經營ノ許可申請ト同時ニ工本書ヲ省略スルコトヲ得)
 - 四 收支概算書(第二號様式)瓦斯事業經營ノ許可申請ト同時ニ瓦斯料書ヲ省略スルコトヲ得
 - 五 他ヨリ瓦斯供給ヲ受ケ瓦斯事業ヲ營マムトスル者ニ在リテハ其ノ供給者トノ契約書ノ謄本
 - 六 會社發起人ニ在リテハ定款ノ謄本
 - 七 會社ニ在リテハ其ノ會社ノ登記簿及定款ノ謄本、瓦斯事業經營ニ關スル株主總會ノ決議録又ハ總社員ノ同意書ノ謄本並財產目錄及貸借對照表
 - 八 組合ニ在リテハ其ノ契約書及瓦斯事業經營ニ關スル總組合員ノ同意書ノ謄本、財產目錄及貸借 照表
 - 九 公共團體ニ在リテハ瓦斯事業經營ニ關スル其ノ議會ノ議決書ノ謄本
- 第二條 起業目論見書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一 商號又ハ名稱及主タル事務所ノ所在地
 - 二 瓦斯ノ製造及供給ノ方法
 - 三 一日ノ製造能力製造所毎ニ之
 - 四 事業資金ノ總額及其ノ出資方法 瓦斯事業以外ノ事業ヲ營スル場合ニ於テハ各其ノ資金ヲ區分シテ記載ス
 - 五 供給區域
 - 平面圖 供給區域ノ境界、郡市區町村大字界及其ノ名稱、主要ナル市街、村落、道路、橋梁、鐵道、軌道、山川、港灣、要塞

地等ヲ記載シ主要ナル導管ヲ添附スヘシ
 ノ施設豫定線ヲ記入スヘシ
 需用見込高

- 六 需用見込高
- 七 瓦斯事業以外ノ事業ヲ營スル場合ニ於テハ其ノ營スル事業ノ大要

第三條 工事設計書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 瓦斯製造所及瓦斯供給所ノ位置
- 二 瓦斯ノ發生、精製、計量、貯藏及供給ノ用ニ供スル主要ナル裝置
- 三 工事ノ著手及完了期日 工事ヲ區分シテ施行スル場合ニ於テハ其ノ區分毎ニ之ヲ記載スヘシ

第四條 瓦斯事業法第五條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケヘキ工事左ノ如シ

- 一 瓦斯ノ發生、精製若ハ供給ノ用ニ供スル主要ナル裝置(導管ヲ除ク)又ハ瓦斯溜ノ施設
- 二 高壓導管ノ施設

第五條 前條ノ工事施行ノ許可ハ其ノ種類ニ從ヒ左ノ事項ヲ具シ之ヲ商工大臣ニ申請スヘシ

- 一 瓦斯製造所及瓦斯供給所ノ位置
- 二 瓦斯ノ發生、製精若ハ供給ノ用ニ供スル裝置(導管ヲ除ク)又ハ瓦斯溜ノ配置並其ノ形式、構造及能力
- 三 高壓導管ノ内徑及配置並高壓導管ヲ通スル瓦斯ノ壓力

第六條 前條ノ工事施行ノ許可申請書ニハ工事ノ種類ニ從ヒ左ノ書類及圖面ヲ添附スヘシ

- 一 瓦斯製造所及瓦斯供給所ノ周圍百メートル以内ノ平面圖
- 二 瓦斯製造所及瓦斯供給所ノ設計圖 構内ノ主要ナル導管並構内ノ主要ナル建物ノ仕様書及構造圖
- 三 瓦斯ノ發生、製精又ハ供給ノ用ニ供スル裝置(導管ヲ除ク)ノ型

式、構造、能力及主要寸法ニ關スル説明書

- 四 瓦斯溜ノ仕様書及構造圖
- 五 高壓導管ノ施設仕様書 材質ヲ記及其ノ配置圖 臺座裝置ノ位置
- 六 工事費概算書

第七條 許可ヲ受ケテ工事ヲ施行シタル瓦斯工作物使用ノ許可ハ之ヲ地方官ニ申請スヘシ

- 第八條 瓦斯事業者其ノ事業ヲ開始シタルトキハ遲滞ナク之ヲ商工大臣ニ届出ツヘシ
- 第九條 瓦斯事業法第六條第二項ノ規定ニ依ル導管施設ノ許可申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ
 - 一 管理者ニ提出シタル導管施設許可申請書及管理者ノ指令書ノ謄本
 - 二 管理者ノ拒否處分ヲ不當トスル理由書

第十條 瓦斯事業法第七條第二項ノ規定ニ依ル土地立入ノ許可ハ左ノ事項ヲ具シ之ヲ地方官ニ申請スヘシ

- 一 立入ノ目的
- 二 立入ルヘキ土地ノ區域
- 三 立入ルヘキ時期及期間
- 四 所有者若ハ占有者ト協議調ハス又ハ協議ヲ爲スコト能ハサル事由
- 五 土地所有者及占有者ノ氏名及住所

第十一條 瓦斯事業法第七條第三項ノ規定ニ依ル土地立入ノ通知書ニハ

- 第十二條 瓦斯事業法第七條第三項ノ規定ニ依ル土地立入ノ通知書ニハ

前條第一號乃至第三號ノ事項ヲ記載シ且許可書ノ謄本ヲ添附スヘシ

第十三條 瓦斯事業法第七條第二項ノ規定ニ依ル導管施設ノ許可ハ左ノ事項ヲ具シ之ヲ地方長官ニ申請スヘシ

- 一 導管ノ形状、内徑及其ノ施設方法
- 二 導管施設ノ爲當該地域ノ選定ヲ必要トスル理由
- 三 導管施設ノ爲立入ルヘキ土地ノ區域
- 四 導管施設ノ著手時期及期間
- 五 土地ノ現在ノ使用方法
- 六 損失補償ノ見積金額及其ノ内譯
- 七 所有者若ハ占有者ト協議調ハス又ハ協議ヲ爲スコト能ハサル事由
- 八 土地所有者及占有者ノ氏名及住所

前項ノ申請書ニハ導管ノ配置圖ヲ添附スヘシ

第十四條 瓦斯事業法第七條第三項ノ規定ニ依ル導管施設ノ通知書ニハ前條第一項第一號乃至第四號ノ事項ヲ記載シ且許可書ノ謄本ヲ添附スヘシ

第十五條 瓦斯事業法第七條又ハ第九條ノ規定ニ依ル他人ノ土地若ハ建造物ニ立入り又ハ他人ノ土地ニ導管ヲ施設セムトスル者ハ其ノ證票ヲ携接スヘシ

前項ノ證票ハ土地又ハ建造物ノ管理者ノ請求アリタルトキハ之ヲ呈示スヘシ

瓦斯事業者ハ第一項ノ證票ノ雛形ヲ豫メ所轄警察官署ニ提出スヘシ

第十六條 瓦斯事業法第八條第一項ノ規定ニ依ル導管ノ位置ノ變更其ノ他土地使用ニ對スル障害ノ豫防又ハ除却ニ必要ナル施設ノ請求書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

裁定ニ付テハ前二條ノ規定ヲ準用ス

第二十二條 瓦斯事業法第十二條第一項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケヘキ瓦斯供給條件左ノ如シ

- 一 瓦斯引用ノ工事費ノ全部又ハ一部ヲ需用者ニ負擔セシムル場合ニ於テハ其ノ金額
- 二 瓦斯「メートル」其ノ他瓦斯ノ使用ニ必要ナル器具ノ賃貸料

第二十三條 瓦斯料金又ハ前條ノ瓦斯供給條件ノ設定又ハ變更ノ認可申請書ニハ其ノ設定又ハ變更ノ計算ノ基礎ヲ明ニスヘキ書類ヲ添附スヘシ

第二十四條 瓦斯ノ成分ハ左ノ制限ニ從フヘシ

- 一 硫化水素含有ノ反應ヲ呈セサルコト
- 二 硫黄含有量ハ十立方メートル中五グラム以下ナルコト
- 三 「アムモニア」含有量ハ十立方メートル中二グラム以下ナルコト

第二十五條 無臭ノ瓦斯ニハ其ノ漏洩ヲ覺知シ易カラシムル爲臭氣ヲ附スヘシ

第二十六條 瓦斯ノ壓力及熱量ハ商工大臣ノ認可ヲ受ケ且之ヲ公示スヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

前項ノ壓力及熱量ハ需用者ノ瓦斯「メートル」ノ出口ヲ標準トシテ之ヲ表示スヘシ

第二十七條 天災、工事其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ因リ前條ノ規定ニ依リ公示シタル壓力又ハ熱量ヲ維持スルコト能ハサルトキハ瓦斯事業者ハ遲滞ナク其ノ事由、區域、期間及其ノ變更スル瓦斯ノ壓力又ハ熱量ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

前項ノ場合ニ於テ壓力又ハ熱量ヲ維持スルコト能ハサルコトヲ豫知シ

一 請求ノ目的及理由

二 土地ノ現在ノ使用方法及變更スヘキ使用方法並使用方法變更ノ時期

第十七條 瓦斯事業者瓦斯事業法第八條第一項ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ請求ニ應スルヤ否ヤヲ遲滞ナク請求者ニ通知スヘシ

瓦斯事業者請求ニ應スル場合ニ於テハ瓦斯事業法第八條第二項ノ規定ニ依リ請求者ノ負擔スヘキ費用ノ擔保トシテ施設費見積額ニ相當スル金額ヲ其ノ施設者手前ニ供託スヘキコトヲ請求スルコトヲ得

第十八條 瓦斯事業者瓦斯事業法第八條第一項ノ規定ニ依リ請求セラレタル施設ニ著手シタルトキ及之ヲ完了シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ請求者ニ通知スヘシ

瓦斯事業法第八條第一項ノ規定ニ依リ請求ヲ爲シタル者其ノ土地ノ使用方法ノ變更ニ著手シタルトキ及之ヲ完了シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ瓦斯事業者ニ通知スヘシ

第十九條 瓦斯事業法第十條第二項ノ規定ニ依リ裁定ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ具シタル申請書(正副二通)ヲ地方長官ニ提出スヘシ

- 一 申請人及相手方ノ氏名又ハ名稱及住所
- 二 申請ノ目的及理由

地方長官申請書ヲ受理シタルトキハ其ノ副本ヲ相手方ニ送付シ其ノ指定ノ期間内ニ答辯書ヲ差出ササルトキハ地方長官ハ申請書ノミニ依リ裁定ヲ爲スコトヲ得副本ヲ送付ヲ爲スコト能ハサルトキ亦同シ

第二十條 裁定書ニハ理由ヲ附シ地方長官之ヲ當事者雙方ニ送付スヘシ

第二十一條 瓦斯事業法第十二條第四項及第十七條第二項ノ規定ニ依ル

得ルトキハ瓦斯事業者ハ豫メ之ヲ關係需用者ニ周知セシムヘシ

第二十八條 瓦斯事業者ハ一週一回以上成分ノ試験ヲ、一日一回以上壓力及熱量ノ測定ヲ行フヘシ

前項ノ壓力及熱量ヲ測定スヘキ場所ハ商工大臣之ヲ定ム

第二十九條 左ノ事項ハ商工大臣之ヲ告示ス

- 一 成分試験ノ方法及裝置ノ型式
- 二 壓力測定ノ方法及裝置ノ型式
- 三 熱量測定ノ方法及裝置ノ型式

第三十條 水性瓦斯其ノ他間歇的瓦斯製造裝置ニハ「レリーフホール」ヲ一其ノ他適當ナル緩衝裝置ヲ施設スヘシ

第三十一條 各瓦斯製造所ノ發生精製裝置ヨリ直接瓦斯ヲ送入スル瓦斯溜(レリーフホール)ヲ除クノ總容量ハ其ノ一日ノ製造能力ノ二分ノ一以上タルヘシ

第三十二條 瓦斯溜ニハ瓦斯放出裝置ヲ施設スヘシ

第三十三條 瓦斯發生爐又ハ瓦斯溜ヲ施設セムトスルトキハ其ノ外側ヨリ左ノ距離ヲ有セシムヘシ

- 一 宮城、離宮、御用邸又ハ神宮ハ四百メートル以上
- 二 皇陵、社寺、公園、學校、病院、劇場其ノ他多衆ヲ收容スヘキ建造物ハ百メートル以上

瓦斯發生爐又ハ瓦斯溜ハ其ノ外側ヨリ前項ニ掲ケル工作物及人家ハ十メートル以上ノ距離ヲ保有スヘシ

商工大臣ハ所在地又ハ設備ノ狀況ニ依リ危險ノ虞ナシト認ムルトキハ前二項ニ定ムル距離ノ短縮ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十四條 瓦斯製造所ニハ豫備排送裝置ヲ施設スヘシ

第三十五條 導管ニハ適當ナル區劃ニ對シ瓦斯ノ供給ヲ遮斷スル爲必要ナル装置ヲ施設スヘシ

瓦斯事業者ハ瓦斯供給中火災其ノ他非常ノ場合ニ際シ危険アリト認ムルトキハ其ノ供給ヲ遮斷スヘシ

第三十六條 一日五萬立方メートル以上ノ製造能力ヲ有スル瓦斯製造所ニ依リ瓦斯ノ供給ヲ受クル區域内ニ在リテハ内徑百ミリメートル以上其ノ他ノ場合ニ在リテハ内徑五十ミリメートル以上ノ低壓導管（建物ノ施設モノモ）ヲ施設シ又ハ之ヲ變更シタル場合ニ於テハ瓦斯事業者ハ其ノ配置圖ノ位置ヲ明示スヘシ（三月毎ニ取廻メ之ヲ商工大臣ニ届出ツヘシ）

第三十七條 商工大臣ハ瓦斯ノ供給ニ支障ヲ來ササル爲又ハ災害ノ豫防若ハ除却ノ爲必要アリト認ムルトキハ瓦斯事業者ニ對シ瓦斯留其ノ他瓦斯工作物ニ關シ其ノ施設、變更其ノ他必要ナル措置ヲ命スルコトアルヘシ

地方長官ハ危険急迫ノ場合ニ於テハ前項ノ規定ニ拘ラス保安上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三十八條 瓦斯事業者ノ廢止又ハ一月以上ノ休止ノ許可ハ其ノ事由、區域及休止ノ期間ヲ具シ之ヲ商工大臣ニ申請スヘシ

瓦斯事業者ノ一月未滿ノ休止ノ許可ハ其ノ事由、區域及期間ヲ具シ之ヲ地方長官ニ申請スヘシ

前二項ノ許可ヲ受ケタルトキハ瓦斯事業者ハ豫メ之ヲ關係需用者ニ周知セシムヘシ

天災、工事其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ因リ瓦斯ノ供給スルコト能

ハサル場合ニ關シテハ第二十七條ノ規定ヲ準用ス

第三十九條 瓦斯事業讓渡ノ許可申請書ハ左ノ書類ヲ添附シ當事者連署ノ上之ヲ提出スヘシ

- 一 讓渡契約書ノ原本
- 二 讓渡人又ハ讓受人カ會社ナル場合ニ於テハ讓渡ニ關スル株主總會ノ決議録又ハ總社員ノ同意書ノ原本、組合ナル場合ニ於テハ讓渡ニ關スル總組合員ノ同意書ノ原本
- 三 讓受人カ會社發起人ナル場合ニ於テハ定款ノ原本
- 四 讓受人カ瓦斯事業者ニ非サル會社ナル場合ニ於テハ定款及會社登記簿ノ原本、財産目錄並貸借對照表
- 五 讓受人カ組合ナル場合ニ於テハ第二號ニ掲ケル書類ノ外其ノ契約書ノ原本、財産目錄及貸借對照表
- 六 讓渡人又ハ讓受人カ公共團體ナル場合ニ於テハ讓渡ニ關スル其ノ議會ノ議決書ノ原本

第四十條 瓦斯事業ノ讓渡終了シタルトキハ遲滞ナク當事者連署ノ上之ヲ商工大臣ニ届出ツヘシ

第四十一條 瓦斯事業ヲ營ム會社ノ合併ニ付テハ前二第ノ規定ヲ準用ス

第四十二條 瓦斯事業ヲ營ム會社ノ解散ノ許可申請書ハ解散ノ事由ヲ記載シ且解散ニ關スル株主總會ノ決議録又ハ總社員ノ同意書ノ原本ヲ添付スヘシ

第四十三條 瓦斯事業法第十七條第一項ノ規定ニ依リ瓦斯事業買收ノ認可申請書ニハ左ノ書類ヲ添付スヘシ

- 一 買收目的ノ範圍ニ關スル調査
- 二 買收價格ノ算出及買收代金ノ支拂ニ關スル説明書

第四十八條 商工大臣ハ主任技術者カ其ノ職務ヲ怠リ又ハ其ノ職務ヲ行フニ不當ナル行爲アリト認ムルトキハ其ノ解任ヲ命スルコトアルヘシ

第四十九條 瓦斯事業者供給區域又ハ高壓導管ヲ通スル瓦斯ノ壓力ヲ變更セムトスルトキハ商工大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第五十條 瓦斯事業者（公共團體タル瓦斯事業者ヲ除ク）ハ每事業年度經過後遲滞ナク財産目錄、貸借對照表、營業報告書及損益計算書ヲ商工大臣ニ提出スヘシ

第五十一條 瓦斯事業者ハ瓦斯供給規程ヲ定メ之ヲ商工大臣ニ届出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第五十二條 瓦斯事業者ハ業務ノ狀況ニ關シ報告書（第三號樣式）ヲ作製シ之ヲ商工大臣ニ提出スヘシ

第五十三條 左ノ場合ニ於テハ瓦斯事業者ハ遲滞ナク之ヲ商工大臣ニ届出ツヘシ

- 一 會社成立シタルトキ
- 二 會社ノ取締役、監査役ヲ選任シ又ハ代表社員ヲ定メタルトキ
- 三 會社ノ定款又ハ組合契約ヲ變更シタルトキ
- 四 主たる事務所以外ニ營業所又ハ事務所ヲ設置シ又ハ變更シタルトキ
- 五 第二條第一號乃至第四號ニ規定スル事項ヲ變更シタルトキ
- 六 他ヨリ瓦斯ノ供給ヲ受クル契約ヲ爲シタルトキ又ハ之ヲ變更若ハ解消シタルトキ
- 七 瓦斯事業以外ノ事業ヲ兼營スルニ至リタルトキ又ハ瓦斯事業以外ノ事業ノ兼營ヲ廢止スルニ至リタルトキ

第五十四條 左ノ場合ニ於テハ主任技術者ヲ選任シタルトキハ履歷書ヲ添ヘシ

第四十七條 主任技術者缺ケタルトキハ瓦斯事業者ハ遲滞ナク其ノ後任者ヲ選出スヘシ

第四十六條 瓦斯事業者主任技術者ヲ選任シタルトキハ履歷書ヲ添ヘシ

第四十五條 主任技術者缺ケタルトキハ瓦斯事業者ハ遲滞ナク其ノ後任者ヲ選出スヘシ

第三十七條 主任技術者缺ケタルトキハ瓦斯事業者ハ遲滞ナク其ノ後任者ヲ選出スヘシ

第五編 通信、交通、電氣 第三章 電氣、瓦斯

第五編 通信、交通、電氣 第三章 電氣、瓦斯

三 買收ニ關スル市町村會ノ議決書ノ原本

四 買收後ニ於ケル事業計畫書及收支豫算書

第四十四條 瓦斯製造所ニハ其ノ製造能力一日五千立方メートル以上ノモノニ在リテハ甲種免狀ヲ有スル者ヲ、五千立方メートル未滿ノモノ及瓦斯供給所ニ在リテハ甲種免狀又ハ乙種免狀ヲ有スル者ヲ主任技術者トシテ選任シ技術ニ關スル事項ヲ擔任セシムヘシ

第四十五條 甲種免狀又ハ乙種免狀ハ左ノ資格ヲ有スル者ニ就キ本人ノ申請ニ依リ商工大臣鑒衡ノ上之ヲ交付ス

甲種免狀

- 一 高等工業學校又ハ之ト同等以上ノ學校ノ卒業者ニシテ在學中瓦斯事業ノ技術ニ關スル學科ヲ修得シ且一年以上其ノ實務ニ従事シタル者
- 二 瓦斯事業ノ技術ニ關シ前號ニ掲ケル者ト同等以上ノ學識ヲ有シ且一年以上其ノ實務ニ従事シタル者

乙種免狀

- 一 工業學校卒業常小學卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年修業年限三又ハ之ト同等以上ノ學校ノ卒業者ニシテ在學中瓦斯事業ノ技術ニ關スル學科ヲ修得シ且一年以上其ノ實務ニ従事シタル者
- 二 瓦斯事業ノ技術ニ關シ前號ニ掲ケル者ト同等以上ノ學識ヲ有シ且一年以上其ノ實務ニ従事シタル者

第四十六條 瓦斯事業者主任技術者ヲ選任シタルトキハ履歷書ヲ添ヘシ

フ商工大臣ニ届出ツヘシ

第四十七條 主任技術者缺ケタルトキハ瓦斯事業者ハ遲滞ナク其ノ後任者ヲ選出スヘシ

八 公共團體ト事業經營ニ關スル定ヲ爲シタルトキ又ハ之ヲ變更シタルトキ

第五十四條 瓦斯事業法、瓦斯事業法施行令又ハ本則ノ規定ニ依リ商工大臣又ハ内務大臣及商工大臣ニ提出スル書類ハ地方長官ヲ經由スヘシ但シ二府縣以上ニ關スル事項ニ付テハ主トシテ關係ヲ有スル地方官ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シ別ニ其ノ副本ヲ關係地方長官ニ提出スヘシ

第五十五條 本則中地方長官トアルハ東京府ニ在リテハ第十一條、第十三條、第十九條及第二十條ヲ除ク外警視總監トス但シ第五十四條ニ在リテハ瓦斯事業法第六條第二項、第十二條第四項及第十七條並瓦斯事業法施行令第二條第二項ノ規定ニ依ル許可、認可、裁定其ノ他ノ處分ノ申請ニ關シテハ東京府知事、瓦斯事業法第三條、第十五條及第十六條ノ規定ニ依ル許可ノ申請ニ關シテハ東京府知事及警視總監トス

第五十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
一 第二十四條、第二十五條、第二十八條第一項、第三十五條第二項又ハ第五十一條ノ規定ニ違反シタル者
二 第三十七條ノ規定ニ依ル處分ニ違反シタル者

第五十七條 本則ハ瓦斯事業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第五十八條 瓦斯事業法施行ノ際現ニ存スル瓦斯事業者ハ許可ヲ受ケ瓦斯事業法施行ノ日ヨリ六月ヲ限リ第二十四條ノ制限ニ依ラサルコトヲ得
第五十九條 瓦斯事業法施行ノ際現ニ存スル瓦斯事業者ハ瓦斯事業法施行ノ日ヨリ六月以内ニ第二十六條ノ認可ヲ申請スヘシ

第六十條 瓦斯事業法施行ノ際現ニ存スル瓦斯事業者ニ付テハ同法施行ノ日ヨリ六月間ハ第二十五條及第二十八條ノ規定ヲ適用セス

第六十一條 瓦斯事業法施行ノ際現ニ存スル瓦斯事業者ニ付テハ同法施行ノ日ヨリ五年内ニ於テ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル期間ハ第三十條、第三十一條及第三十三條第二項ノ規定ヲ、同法施行ノ日ヨリ六月間ハ第三十二條、第三十四條及第三十五條第一項ノ規定ヲ適用セス

第六十二條 第五十八條及前條ノ規定ニ依ル許可申請書ハ瓦斯事業法施行後一月内ニ之ヲ商工大臣ニ提出スヘシ

第六十三條 瓦斯事業法施行ノ際現ニ存スル瓦斯事業者ニ付テハ同法施行ノ日ヨリ二年間第四十四條ノ規定ヲ適用セス

第六十四條 瓦斯事業法施行ノ際現ニ存スル瓦斯事業者ハ瓦斯事業法施行後遲滞ナク左ノ事項ヲ商工大臣ニ届出ツヘシ
一 第二條第一號乃至第四號及第七條ニ掲グル事項
二 第五條ニ掲グル事項
三 瓦斯料金及第二十二條ノ瓦斯供給條件
四 會社ノ取締役及監査役ノ氏名
五 會社ノ定款ノ原本
六 主たる事務所以外ノ營業所又ハ事務所ノ所在地
七 公共團體トノ間ニ存スル事業經營ニ關スル定
八 瓦斯供給規程

第六十五條 瓦斯事業法施行ノ際現ニ存スル瓦斯事業者ハ第一條第五號、第二條第五號、第六條第二號乃至第五號及第三十六條ニ掲グル書類及圖面ヲ同法施行後遲滞ナク商工大臣ニ提出スヘシ
(様式略)

昭和三年一月一日印刷
昭和三年一月廿日發行

加除 現行法令輯覽付 (非賣品)
自在

編輯者 河野信一
帝國行政學會長

發行者 河野喜盛一
東京府豊多摩郡野方町字新井二二五番地

印刷者 川城兼次郎
東京市赤坂區榎坂町二番地

印刷所 帝國行政學會印刷部
東京市赤坂區榎坂町二番地

電話 青山 五三五六番

東京府豊多摩郡野方町新井二二五番地

發行所 帝國行政學會



